

第 31 号(令和元年度分)

広島県立文書館 事業年報

歴史資料は 過去・現在・未来をつなぐ 私たちの財産です

もんじょかん
広島県立文書館

目 次

I 概 要

1	設置目的	1
2	業務内容	1
3	沿革	1
4	施設・設備	2
5	組織及び職員構成	3
6	文書館運営予算	4
7	収蔵資料	4
8	各階平面図	5

II 事業報告

1	収集	6
2	整理	17
3	保存	20
4	利用	23
5	展示・普及啓発	26
6	研究・研修・調査	30
7	その他	32
8	業務日誌	34

III 法律・条例・規則

1	公文書館法	39
2	広島県立文書館設置及び管理条例	39
3	広島県立文書館管理規則	39
4	広島県文書等管理規則（抄）	41
5	広島県文書等管理規程（抄）	41
	（利用案内）	42

I 概要

1 設置目的

広島県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書、その他の記録を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与する。（広島県立文書館設置及び管理条例第1条）

2 業務内容

- (1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること
- (2) 文書等の利用に関すること
- (3) 文書等の調査及び研究に関すること
- (4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること
- (5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること
- (6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

3 沿革

昭和 34 年	11 月	「公文書散逸防止について」日本学術会議が勧告
40 年	1 月	広島県立文書館設立期成会（代表 福尾広島大学教授）が組織され、文書館の設立及び官公庁の廃棄文書選別保存の必要性について関係方面へ運動を開始
40 年	3 月	広島県廃棄行政文書の選別収集を開始
43 年	4 月	広島県史編さん事業を開始
57 年	2 月	県立文書館建設調査研究協議会（55 年 10 月発足、会長：今堀誠二広島女子大学学長）が知事に「広島県立文書館基本構想についての報告書」を提出
59 年	3 月	広島県史編さん事業が完了（昭和 43 年から 16 年間、全 27 巻）
	12 月	広島大学跡地利用研究協議会（会長 荒木武広島市長）が跡地利用計画の最終案を決定 県立文書館、県立図書館、県立産業技術交流センターによる複合施設（仮称情報プラザ）として建設することが決定
63 年	3 月	広島県情報プラザ完成
	4 月	総務部総務課に県立文書館開館準備担当を設置（広島県情報プラザ（文書館）で勤務）
	6 月	公文書館法施行
	10 月	広島県立文書館開館 広島県情報プラザ（文書館）落成式挙行 開館記念特別講演会を広島県情報プラザで開催
平成元年	10 月	第 15 回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県情報プラザで開催
5 年	10 月	開館 5 周年記念講演会を広島県情報プラザで開催
6 年	6 月	第 6 回都道府県・政令指定都市公文書館長会議を広島県情報プラザで開催
10 年	5 月	開館 10 周年記念パネル展を広島県情報プラザで開催
15 年	3 月	広島県のホームページに県立文書館ホームページを開設
15 年	4 月	中間書庫（広島市南区出汐二丁目旧地方公務員研修所）の使用開始
18 年	2 月	中間書庫を旧地方公務員研修所から旧観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転
20 年	10 月	開館 20 周年記念リバイバル展及び記念講演会を開催
23 年	9 月	広島大学文書館と「災害等の発生に伴う史・資料保護に関する相互協力協定書」を締結
24 年	11 月	第 38 回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会を広島県民文化センター・鯉城会館で開催

25年 1月	当館寄託「福山市・山野村役場文書」が広島県重要文化財に指定
26年 4月	中間書庫として旧県立白木高校（広島市安佐北区白木町秋山 1210-1）の教室を確保
30年 9月	開館 30 周年記念講演会を開催
令和 2年 3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月 9 日～5月 23 日）

4 施設・設備

県立文書館（総務局所属）は、県立図書館（教育委員会所属）、県立産業技術交流センター（商工労働局所管）と共に「広島県情報プラザ」内に設置されている。

(1) 情報プラザ

所在地	広島市中区千田町三丁目 7 番 4 7 号		
用途地域	住居地域（建ぺい率 60%，容積率 200%）		
防火指定	準防火地域		
敷地面積	10,015.78㎡		
建築面積	5,666㎡		
延床面積	23,674㎡	内訳	文書館 2,530㎡ 図書館 6,190㎡ 産業技術交流センター 2,000㎡ 交流フロア 2,880㎡ 共有部分 10,074㎡

〔工期〕昭和 61 年 6 月～昭和 63 年 3 月 〔総事業費〕 10,481,970 千円（うち、用地取得費 2,905,734 千円）

(2) 文書館

ア 情報プラザ内（主要な専用部分のみ）

区 分	面積（㎡）	仕 様 等
閲覧室	203	21 席
閲覧準備室	35	8 席
展示室	90	ハロンガス消火設備
		固定展示ケース 2 面（延長 22.4m）
研修・会議室	94	62 人収容
調査研究室	43	書架（密集式）延長 451m
事務室	102	
館長室	22	
マイクロ撮影室	35	
製本補修室	29	和室 6 畳付
マイクロ保管庫	36	24 時間空調，ハロンガス消火設備
第 1 書庫	103	古文書用，24 時間空調，2 時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿板仕上 天井～防湿用発泡ウレタン吹付けの上，調湿用岩面板仕上 書架（密集）延長 1,314m

第2書庫	77	複製本用，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 932m
第3書庫	17	貴重書庫，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 34m
第4書庫	367	古文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架延長 1,432m
第5書庫	481	行政文書用，24時間空調，2時間耐火構造，ハロンガス消火設備 壁面・天井は，第1書庫と同じ仕様 書架（密集）延長 6,085m
旧消毒室	52	平成23年度に燻蒸設備を全て撤去し，書架を配置 平成24年度から書庫として活用 書架延長 400m
荷解整理室	95	書架延長 100m

※ 書架延長（第1書庫～第5書庫，旧消毒室・荷解整理室）合計 10,297m

※ 24時間空調の設定条件：温度 25度以下，湿度 55～60%

イ 中間書庫

平成15年4月1日，旧広島県地方公務員研修所（広島市南区出汐二丁目）を中間書庫として使用開始した。その後，平成18年2月28日，中間書庫を旧広島県観音職員寮（広島市西区観音新町四丁目）へ移転した。書架延長 2,729m（令和2年3月31日現在）。

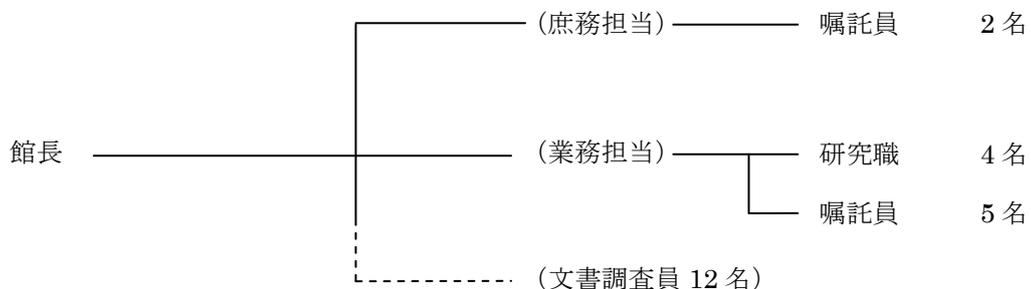
また，平成26年度より旧白木高校跡施設（安佐北区白木町秋山）を中間書庫として利用している。書架延長 760m（令和2年3月31日現在）。

5 組織及び職員構成（平成31年4月1日現在）

(1) 職員定数

12名（常勤職員5名，嘱託員7名）

(2) 組織の状況



(3) 文書調査員

ア 委嘱

県内における歴史的資料の所在，保存状況等を把握するため，次の12名を委嘱した。

石田雅春 井長整次 折田恵子 菅 信博
 高橋孝二 高橋 朋 竹本省三 寺川大雅
 中畑和彦 三浦 忍 宮原千香子 宮本住逸

イ 文書調査員会議

6月10日（月）に文書調査員会議を開催した。議題は次のとおりである。

- 議題 1 令和元年度事業計画等について
 2 県内所在文書の調査状況と課題
 3 広島県における被災資料の救出と保全活動について
 4 調査員業務の成果と課題

6 文書館運営予算（年度別当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成 27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
文書館運営費	6,329	8,506	11,081	11,613	13,197
嘱託員等人件費	20,175	20,826	15,260	15,447	18,678
施設維持費	11,061	11,061	11,384	11,384	11,594
大規模修繕費	53,638	173	12,221	12,663	16,082
計	91,203	40,566	49,946	51,107	59,551

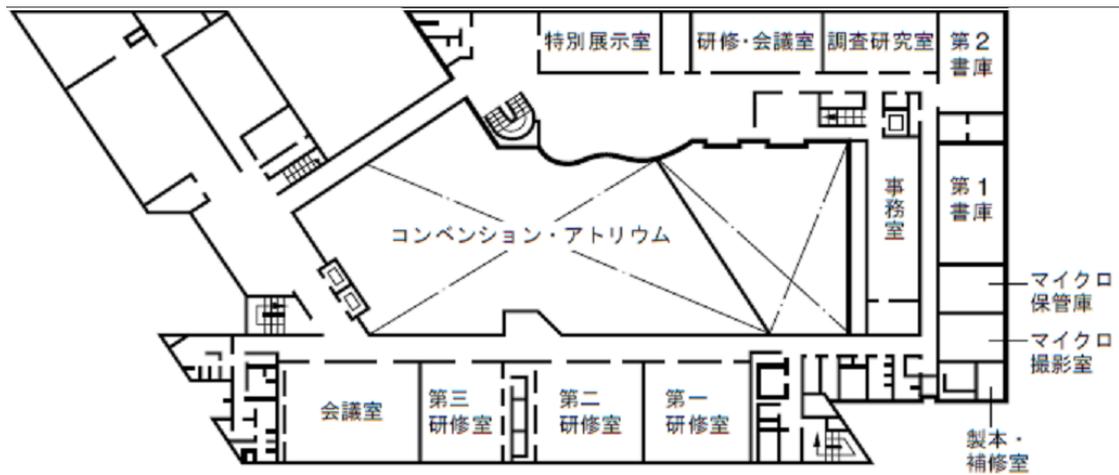
7 収蔵資料

令和元年度末現在の収蔵資料は、次のとおりである。

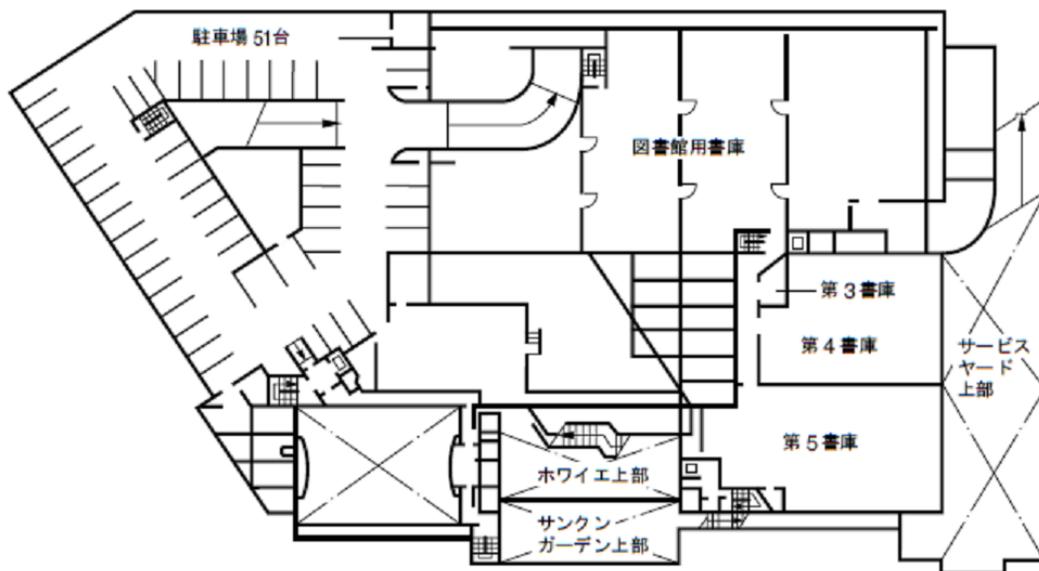
令和 2 年 3 月 31 日現在

種 類	内 容	現有資料数
行政文書	保存年限が満了した県の行政文書の中から、将来、歴史資料として価値があるものとして選別したもの、及び長期保存文書のうち移管を受けたもの	約 63,000 冊
行政資料	県・国・市町村が刊行する各種行政刊行物（外郭団体や民間団体の刊行物を含む。）	約 110,000 冊
古文書	県の行政文書以外の文書の総称で、文書館に寄贈・寄託されたもの	約 288,000 点
複製資料	古文書を撮影したマイクロフィルムとそれを焼付けたもの	約 236 万コマ
		約 40,000 冊
図 書	都道府県史，市町村史，郷土に関する図書	約 24,000 冊

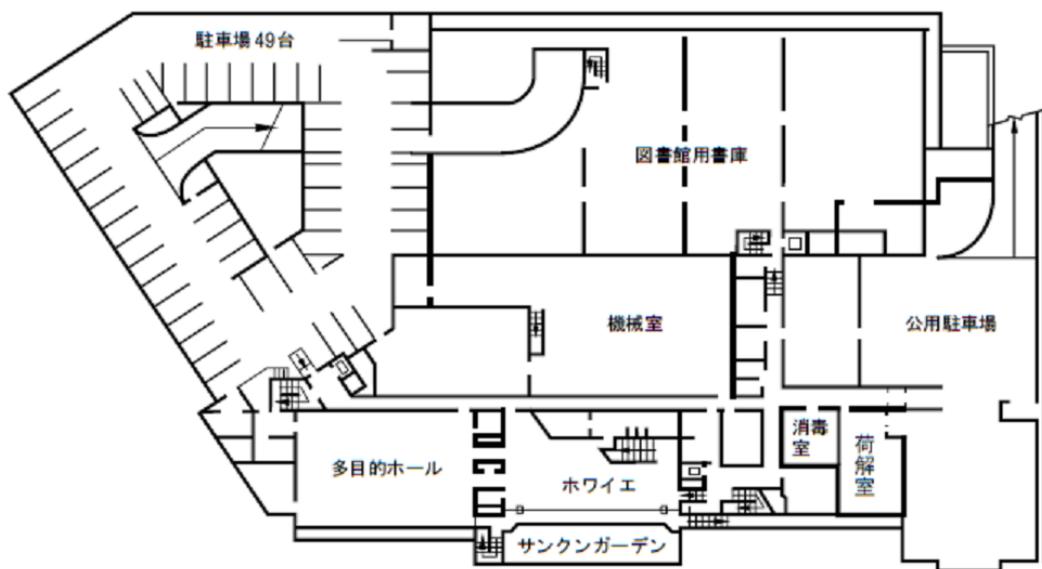
8 各階平面図



2階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図

II 事業報告

1 収 集

(1) 行政文書

令和元年度は、614冊の行政文書（知事部局本庁機関 198冊，同地方機関 107冊，企業局 2冊，教育委員会事務局・同地方機関 30冊，県立学校 121冊，監査委員事務局 61冊，人事委員会事務局 95冊）を選別収集した。データベースに未登録の過年度収集分 5冊（知事部局本庁機関）も新規登録した結果，収蔵行政文書は 54,429冊となった（電子文書を除く）。

ア 行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
内務部第一課	6	県民広報課	28	地域振興・総務室	12
県治課	3	広報広聴課	62	地域政策総務課	23
内務部地方課	7	行政情報室	71	政策企画室	7
庶務課	35	広報室	13	分権改革課	32
広島県参事会	2	広報課	7	地方分権推進課	4
出納・総務室	4	人事課	2	地域企画室	128
出納総務室	6	財政課	1,537	地域調整室	4
会計総務課	3	財政室	512	地域開発課	158
会計課	36	税務課	8	地域振興課	743
指導検査室	8	税務室	2	地域政策室	40
企画指導室	2	消防防災課	336	中山間地域対策課	183
審査指導室	2	消防室	8	中山間地域振興課	38
審査指導課	4	保安室	4	中山間地域振興室	38
用度室	2	消防・保安室	1	広域行政推進課	3
用度課	1	消防保安課	1	地域政策課	17
総務事務課	2	危機管理室	32	地域力創造課	13
総務課	456	危機管理課	24	環境県民総務課	26
総務室	33	管財課	51	土地対策課	24
総務学事課	27	管財第一課	2	消費生活室	12
学事振興室	38	管財第二課	2	消費生活課	77
学事課	200	財産管理室	10	生活課	32
広島女子大学整備事務局	2	財産管理課	2	県民課	389
文書法制室	24	福利課	37	県民文化課	26
県史編さん室	8	福利室	2	文化振興室	72
東京事務所	12	職員健康推進室	2	生活文化室	11
文教課	93	政策企画課	58	県立生活センター	12
私学振興室	23	政策企画局	176	福山地方生活センター	6
学事室	7	企画調整局	6	三次地方生活センター	3
大学企画管理室	4	経営企画チーム	46	県民文化室	78
渉外課	1	情報政策課	76	文化・県民協働室	18
外事課	138	情報政策室	41	文化芸術課	14
国際交流課	370	情報ネットワーク管理室	4	コミュニティ振興課	15
国際企画室	25	行政情報化推進室	3	国民文化祭事務局	26
国際交流室	66	研究開発室	8	交通安全対策室	66
国際室	2	企画広報課	43	交通対策課	124
国際課	6	企画室	136	交通対策室	42
秘書課	25	企画課	440	地方課	1,217
秘書広報課	101	企画調整課	283	市町村課	230

市町村行政室	40	児童家庭課	202	健康増進室	15
市町村税財政室	75	児童福祉課	247	原爆被爆者対策課	70
市町行財政室	30	児童支援室	19	原爆被爆者援護室	4
市町行財政課	1,116	家庭支援室	17	被爆者・毒ガス障害者対策室	15
市町村合併推進室	38	こども夢プラン推進室	9	被爆者支援課	7
地域づくり推進室	40	こども家庭支援室	8	薬務課	210
地域行政室	5	こども家庭課	76	薬務室	15
地域税財政室	14	青少年対策室	39	環境総務室	1
権限移譲推進室	4	青少年婦人対策室	7	環境生活総務室	4
新過疎対策課	9	青少年婦人課	145	公害対策室	11
過疎対策課	4	青少年女性課	73	公害課	86
地域整備課	165	県民活動課	15	公害調整課	49
統計課	896	男女共同参画推進室	9	環境調整課	10
情報統計課	68	老人福祉課	81	環境管理課	170
統計管理室	10	高齢者対策課	130	環境政策室	12
生活統計室	3	高齢者福祉課	234	公害規制課	67
経済統計室	3	長寿社会室	6	大気保全課	126
情報管理課	6	高齢者福祉室	19	環境保全課	284
空港対策室	11	高齢者支援室	12	環境政策課	131
新空港建設推進事務局	10	高齢者支援課	5	環境対策室	21
空港対策局	10	地域包括ケア・高齢者支援課	14	環境調整室	45
空港交通対策課	10	介護保険準備室	3	自然環境保全室	1
援護課	293	介護保険推進事務局	17	自然環境課	25
民生課	15	介護保険指導室	53	水質保全課	116
援護恩給室	3	介護保険課	19	環境整備課	521
社会援護室	6	医療介護計画課	14	循環型社会推進室	17
社会援護課	13	医療介護人材課	47	循環型社会課	3
厚生課	116	医療介護保険課	26	環境型社会推進室	1
社会課	876	保険課	200	一般廃棄物対策室	6
福祉保健課	173	保険医療課	16	産業廃棄物対策室	1
福祉保健総務室	34	国保医療室	22	産業廃棄物対策課	5
健康福祉総務課	20	医療保険室	16	商工観光課	214
福祉・企画管理室	7	医務課	451	商工課	259
福祉指導課	137	医療対策課	147	商政課	128
社会福祉課	280	医療・歯科保健室	3	商工・総務室	20
同和対策室	610	医務看護室	4	商工労働総務室	6
同和対策課	801	健康増進・歯科保健室	3	商工労働総務課	39
人権施策室	30	医療対策室	14	観光課	92
人権・男女共同参画室	19	医療政策課	7	通商観光課	29
人権男女共同参画課	6	医療保険課	22	観光振興室	29
福祉課	32	がん対策課	11	産業技術振興室	4
地域福祉室	104	ねんりんピック推進室	3	工業技術課	102
地域福祉課	35	保健対策室	12	産業技術課	63
福祉指導室	25	環境衛生課	505	計量検定所	2
障害福祉課	225	生活衛生室	54	計量検定室	4
身体障害者福祉室	13	食品衛生室	20	新産業振興室	50
知的障害者福祉室	12	食品生活衛生課	19	新産業課	9
障害者支援室	9	予防課	96	医工連携推進プロジェクト・チーム	2
障害者支援課	83	公衆衛生課	332		
児童課	30	健康対策課	179	地域産業振興室	22

産業政策課	1	農業活性化推進室	5	漁業調整室	25
物流推進室	16	団体検査室	168	漁港漁場整備室	9
立地・物流推進室	17	団体検査課	218	林政課	1,005
流通対策課	110	農業担い手支援課	13	林務政策課	73
ひろしまブランド推進課	7	就農支援課	1	林務管理室	21
国際ビジネス促進室	4	企画調整室	3	林業経営課	1
商業観光課	81	経営構造室	11	林産課	390
商工振興課	164	経営企画室	29	林業振興課	435
観光交流課	35	農業経済課	816	林業振興室	17
商工指導課	60	農地経済課	245	林業課	30
中小企業課	429	農業改良課	238	森林保全室	7
中小企業指導課	112	農業経営室	2	森林保全課	406
金融課	164	農業経営発展課	1	森林整備室	41
商工金融課	135	農業技術課	128	治山課	398
商工金融室	17	技術振興室	28	治山室	22
経営指導室	5	農業振興課	573	自然保護課	200
経営支援室	106	農村対策課	301	みどり景観室	61
経営支援課	1	農業振興室	1	監理課	623
経営革新課	22	園芸特産課	185	土木・総務室	22
工業振興課	45	農産園芸課	335	土木建築総務室	7
企業立地課	172	農業産地推進課	72	土木総務課	54
立地政策室	15	農産課	525	企画調査室	4
県内投資促進課	30	農産振興室	21	技術管理室	16
海外ビジネス課	2	販売推進課	5	技術管理課	191
労政管理室	8	食糧課	2	技術企画課	1
労働福祉室	2	食品流通課	117	建設産業室	7
労政課	813	生産流通室	14	建設産業課	6
労政福祉課	97	食品流通安全室	5	技術総務室	21
労政雇用課	20	畜産課	1,135	技術指導室	2
勤労者福祉室	6	畜産振興室	53	用地課	30
労働福祉課	3	畜産環境室	38	道路維持課	141
雇用対策室	36	農地防災課	1	道路整備課	97
雇用人材確保課	19	農地課	24	道路課	175
雇用労働政策課	30	耕地課	1,438	道路建設課	256
福山商工労政事務所	11	農村整備課	197	道路総務室	16
職業安定課	427	農業活性化推進課	6	道路企画室	20
職業訓練課	80	農地保全室	7	河川課	979
職業能力開発課	44	土地改良室	12	河川管理室	3
職業能力開発室	27	開拓課	1	河川企画整備室	3
イノベーション推進チーム	9	農地開拓課	315	道路河川管理室	5
産業人材課	1	農業開拓課	7	道路河川管理課	40
農業経営課	14	農業開発課	175	河川開発室	4
経済課	5	生産基盤室	5	河川開発課	39
農政課	1,284	生活基盤室	27	ダム建設室	3
農林企画課	67	農村基盤室	8	ダム室	10
農林・総務室	1	農林整備管理課	5	港湾課	798
農林水産部企画管理室	12	農業基盤課	45	広島みなとまちづくり推進室	13
農林水産部企画室	4	水産課	1,358	港湾振興室	23
農林水産総務室	3	水産漁港課	632	港湾管理室	10
農林水産総務課	9	水産振興室	9	港湾企画整備室	8

港湾企画整備課	1	広涉外労務管理事務所	46	備北地域事務所厚生環境局・備北地域保健所	72
港湾振興課	28	広島県引揚同胞更生会	237		
砂防課	187	呉地域事務所総務局	11	西部厚生環境事務所・西部保健所	48
新空港地域整備室	11	芸北地域事務所総務局	64		
空港対策課	47	東広島地域事務所総務局	13	西部厚生環境事務所広島支所・西部保健所広島支所	37
空港振興室	11	福山地域事務所総務局	56		
空港振興課	5	備北地域事務所総務局	11	西部厚生環境事務所呉支所・西部保健所呉支所	21
計画課	451	西部総務事務所	1		
都市計画課	457	西部総務事務所東広島支所	1	西部東厚生環境事務所・西部東保健所	4
都市総務室	21	東部総務事務所	6		
都市総務課	2	北部総務事務所	46	北部厚生環境事務所・北部保健所	1
都市政策課	168	尾道県税事務所	2		
都市企画室	59	福山県税事務所	1	福山児童相談所	10
都市企画課	11	三次県税事務所	1	福山こども家庭センター	7
開発指導室	1	広島地域事務所税務局	9	県立総合精神保健福祉センター	15
学園都市建設課	1	呉地域事務所税務局	17	食肉衛生検査所	5
都市整備課	273	芸北地域事務所税務局	6	動物愛護センター	12
都市整備室	19	東広島地域事務所税務局	25	身体障害者更生相談所	18
下水道課	111	尾三地域事務所税務局	1	呉高等技術専門学校	20
下水道室	21	福山地域事務所税務局	2	尾道農林事務所	31
公園下水道課	106	備北地域事務所税務局	3	福山農林事務所	18
建築課	257	西部県税事務所廿日市分室	5	三次農林事務所	3
建築指導室	3	北部県税事務所	3	庄原農林事務所	12
住宅課	551	自治総合研修センター	1	甲山地域農業改良普及センター	2
住宅室	1	食品工業技術センター	1	広島地域事務所農林局	3
住宅企画室	15	東部工業技術センター	1	呉地域事務所農林局	20
住宅管理室	1	林業技術センター	6	芸北地域事務所農林局	34
営繕課	44	呉保健所竹原支所	1	東広島地域事務所農林局	1
広島港建設課	2	廿日市保健所	4	尾三地域事務所農林局	80
土地開発課	1	府中保健所	1	福山地域事務所農林局	39
開発課	166	大柿地域福祉保健センター・呉保健所大柿支所	2	備北地域事務所農林局	52
開発第一課	59			備北地域事務所農林局庄原支局	46
開発第二課	30	廿日市福祉保健センター・廿日市保健所	2	西部農林水産事務所呉農林事業所	7
開発用地課	26				
開発総務課	57	三原福祉保健センター・三原保健所	2	西部農林水産事務所東広島農林事業所	22
総務課（企）	109			東部農林水産事務所	16
企業・総務室	9	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所	36	東部農林水産事務所尾道農林事業所	26
企業総務課	10				
経理課	43	広島地域事務所厚生環境局・広島地域保健所海田分室	11	北部農林水産事務所	108
開発分譲課	8			東部農業技術指導所	9
水道課	79	呉地域事務所厚生環境局・呉地域保健所	66	北部農業技術指導所	1
水道管理室	3			西部畜産事務所	1
水道整備室	1	芸北地域事務所厚生環境局・芸北地域保健所	93	県立農業技術大学校	5
県立病院課	24			広島土木出張所	9
県立病院管理室	13	東広島地域事務所厚生環境局・東広島地域保健所	6	広島土木建築事務所	152
県立病院室	6			広島都市計画事務所	2
広島復興事務所	1,058	尾三地域事務所厚生環境局・尾三地域保健所	58	西条土木出張所	1
安芸地方事務所	22			西条土木事務所	1
佐伯地方事務所	22	福山地域事務所厚生環境局・福山地域保健所	9	廿日市土木建築事務所	1
呉涉外労務管理事務所	177			東広島土木建築事務所	1
江田島涉外労務管理事務所	8				

芸北地域事務所建設局	1	教委秘書広報室	4	教委安芸出張所	1
尾三地域事務所建設局	2	教委教職員課	26	西部教育事務所芸北支所	1
福山地域事務所建設局	1	教委施設課	142	尾三教育事務所	2
備北地域事務所建設局庄原支局	2	教委健康福利課	5	東部教育事務所	1
備北地域事務所建設局上下支局	3	教委教育企画課	26	県立図書館	3
西部建設事務所安芸太田支所	17	教委学校経営課	85	県立歴史博物館	2
北部建設事務所庄原支所	4	教委学校経営支援課	16	広島観音高等学校	20
広島港事務所	5	教委高校教育指導課	15	大和高等学校	1
広島港湾事務所	1	教委指導課	69	広島工業高等学校	138
広島港湾振興事務所	120	教委指導第一課	99	神辺高等学校	361
監査室	27	教委指導第二課	17	可部高等学校	94
審査室	27	教委指導第三課	14	庄原格致高等学校口和分校	121
監査委員事務局	948	教委義務教育指導課	35	広大型成同盟会	29
人事委員会事務局	95	教委豊かな心育成課	5	広大推進本部	28
人事委員会総務審査室	2	教委社会教育課	145	県立広島大学三原キャンパス 事務局	5
人事委員会総務審査課	3	教委生涯学習課	7	県立広島大学庄原キャンパス 事務局	5
地方労働委員会	89	教委文化課	14	警察本部	1
労働委員会事務局	2	教委文化財課	34		
内水面漁場管理委員会事務局	1	教委保健体育課	75		
広島海区漁業調整委員会事務局	20	教委スポーツ振興課	2		
教育委員会	104	教委スポーツ健康課	2		
教委総務課	220	教委学事課	4		
教委総務調査課	124	教委特別支援教育課	9	総計	54,429

イ 完結年度別行政文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 17 (1884)	1	大正 14 (1925)	3	昭和 24 (1949)	99	昭和 48 (1973)	1,410
18 (1885)	1	昭和元 (1926)	8	25 (1950)	223	49 (1974)	1,301
24 (1891)	1	2 (1927)	8	26 (1951)	220	50 (1975)	903
26 (1893)	9	3 (1928)	6	27 (1952)	231	51 (1976)	668
27 (1894)	1	4 (1929)	5	28 (1953)	172	52 (1977)	1,097
29 (1896)	1	5 (1930)	7	29 (1954)	181	53 (1978)	989
30 (1897)	1	6 (1931)	5	30 (1955)	255	54 (1979)	795
33 (1900)	9	7 (1932)	6	31 (1956)	499	55 (1980)	673
37 (1904)	1	8 (1933)	5	32 (1957)	477	56 (1981)	710
38 (1905)	1	9 (1934)	8	33 (1958)	569	57 (1982)	856
43 (1910)	2	10 (1935)	8	34 (1959)	742	58 (1983)	763
44 (1911)	1	11 (1936)	7	35 (1960)	896	59 (1984)	677
大正元 (1912)	19	12 (1937)	7	36 (1961)	918	60 (1985)	718
2 (1913)	3	13 (1938)	14	37 (1962)	825	61 (1985)	542
3 (1914)	2	14 (1939)	13	38 (1963)	1,045	62 (1987)	646
4 (1915)	1	15 (1940)	9	39 (1964)	960	63 (1988)	705
6 (1917)	1	16 (1941)	21	40 (1965)	754	平成元 (1989)	583
7 (1918)	1	17 (1942)	17	41 (1966)	858	2 (1990)	2,224
8 (1919)	1	18 (1943)	16	42 (1967)	1,135	3 (1991)	716
9 (1920)	4	19 (1944)	19	43 (1968)	1,291	4 (1992)	675
10 (1921)	4	20 (1945)	26	44 (1969)	1,094	5 (1993)	834
11 (1922)	6	21 (1946)	61	45 (1970)	1,402	6 (1994)	841
12 (1923)	6	22 (1947)	49	46 (1971)	1,182	7 (1995)	2,162
13 (1924)	6	23 (1948)	93	47 (1972)	1,177	8 (1996)	805

平成 9 (1997)	1,223	平成 15 (2003)	737	平成 21 (2009)	402	平成 27 (2015)	9
10 (1998)	1,322	16 (2004)	629	22 (2010)	647	年度不明	629
11 (1999)	1,035	17 (2005)	821	23 (2011)	841		
12 (2000)	1,627	18 (2006)	646	24 (2012)	396		
13 (2001)	1,110	19 (2007)	493	25 (2013)	143		
14 (2002)	1,139	20 (2008)	547	26 (2014)	31	総 計	54,429

ウ 令和元年度収集行政文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
会計課	1	商工労働総務課	2	東部総務事務所	6	広島港湾振興事務所	11
総務課	36	医工連携推進プロジェクト・チーム	2	北部総務事務所	1	監査委員事務局	61
学事課	5	県内投資促進課	4	福山県税事務所	1	人事委員会事務局	95
危機管理課	1	海外ビジネス課	2	食品工業技術センター	1	教委総務課	1
経営企画チーム	9	雇用労働政策課	2	呉地域事務所厚生環境局・呉地域保健所	4	教委教職員課	3
分権改革課	23	職業安定課	1	東広島地域事務所厚生環境局・東広島地域保健所	3	教委施設課	4
同和対策室	9	森林保全課	1	西部厚生環境事務所呉支所・西部保健所呉支所	6	教委学校経営課	6
同和対策課	56	監理課	1	西部東厚生環境事務所・西部東保健所	4	教委高校教育指導課	2
人権施策室	12	道路建設課	2	県立総合精神保健福祉センター	2	教委義務教育指導課	4
障害者支援課	3	道路河川管理課	2	身体障害者更生相談所	16	教委文化課	3
児童課	1	都市計画課	3	呉地域事務所農林局	2	教委文化財課	6
こども家庭課	3	都市整備室	10	福山地域事務所農林局	1	西部教育事務所芸北支所	1
医療介護計画課	2	企業総務課	1	備北地域事務所農林局	1	庄原格致高校口和分校	121
医務課	1	水道課	1			総 計	614
自然環境課	4	福山地域事務所総務局	48				

(2) 行政文書（長期保存文書）

平成 24 年 4 月 1 日の広島県文書等管理規則改正に伴い、保存年限区分の「長期」が廃止され、最長保存期間が 30 年となった。また、規則改正前に保存年限を「長期」としていた文書等のうち完結後 30 年が経過したものについては、特別の理由がある場合を除き文書館長に引き渡すよう努めるものとされた。平成 25 年 4 月 1 日には広島県教育委員会事務局等文書管理規程が改正され、保存年限が「長期」である文書に関して、知事部局と同様の規定が設けられた。

令和元年度は長期保存文書の移管はなかったが、従来から外箱（文書整理ケース）しか残っていなかった文書 2 冊*の登録を抹消した結果、文書館で収蔵している長期保存文書は令和 2 年 3 月 31 日現在で 8,311 冊となった。その内訳は次表のとおりである。

※ 昭和 47 年度の「重要施策の総合企画調整／広島県総合開発審議会」と昭和 52 年度の「基本的施策／当初予算の企画部への事前協議（各種開発関連調査費）」（いずれも企画課）。平成 21 年 7 月に県庁から文書館へ運搬した時点で外箱しか残っていなかったが、念のために保存しておいたものである。その後、カビ被害を受けた文書の外箱を交換する作業を進めていく中で、令和元年 8 月にこの 2 冊の外箱の記録を残した上で廃棄し、登録を抹消した。

ア 移管長期保存文書課別冊数

課名	冊数	課名	冊数	課名	冊数
県治課	4	公害規制課	6	河川課	359
庶務課	12	商工観光課	46	河川開発課	12
総務課	193	商工課	62	港湾課	1,169
文教課	15	商政課	3	砂防課	58
涉外課	8	観光課	1	計画課	18
外事課	8	工業技術課	186	都市計画課	28
秘書課	62	商工指導課	23	都市総務課	6
人事課	1	中小企業課	17	下水道課	2
財政課	309	金融課	35	建築課	75
消防防災課	100	労政課	57	住宅課	377
管財課	232	職業訓練課	77	営繕課	12
管財第一課	7	職業能力開発課	1	広島港建設課	2
管財第二課	1	農業経営課	83	開発課	32
福利課	78	農政課	244	開発第一課	12
企画広報課	2	農業経済課	77	開発用地課	28
企画課	68	農地経済課	17	開発総務課	9
土地対策課	6	農業改良課	35	経理課	25
交通対策課	23	農業技術課	16	水道課	31
地方課	351	農業振興課	5	県立病院課	9
市町村課	13	農村対策課	1	佐伯地方事務所	2
統計課	36	園芸特産課	4	江田島涉外労務管理事務所	1
民生課	2	農産園芸課	2	教委総務課	338
厚生課	23	農産課	1	教委総務調査課	5
社会課	62	食品流通課	9	教委教職員課	42
福祉課	2	畜産課	39	教委学校管理課	3
障害福祉課	21	農地課	2	教委義務教育課	4
児童課	50	耕地課	398	教委高校教育課	2
児童家庭課	93	農地開拓課	5	教委指導課	200
児童福祉課	45	農業開発課	19	教委指導第一課	2
青少年対策室	2	水産課	146	教委指導第二課	9
保険課	13	水産漁港課	1	教委義務教育指導課	3
医務課	180	林政課	184	教委社会教育課	17
環境衛生課	35	林産課	12	教委生涯学習課	28
予防課	47	治山課	227	教委文化課	111
公衆衛生課	138	自然保護課	2	教委学事課	8
原爆被爆者対策課	2	監理課	228	教委障害児教育室	3
薬務課	58	用地課	182		
公害課	16	道路維持課	470		
公害調整課	4	道路課	13		
環境調整課	1	道路建設課	10	総計	8,311

イ 完結年度別移管長期保存文書冊数

完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数	完結年度（西暦）	冊数
明治 41（1908）	1	昭和 17（1942）	4	昭和 35（1960）	192	昭和 53（1978）	426
42（1909）	1	18（1943）	4	36（1961）	206	54（1979）	74
43（1910）	1	19（1944）	1	37（1962）	243	55（1980）	43
大正 10（1921）	2	20（1945）	6	38（1963）	277	56（1981）	42
11（1922）	1	21（1946）	19	39（1964）	261	57（1982）	68
12（1923）	6	22（1947）	11	40（1965）	332	58（1983）	32
14（1925）	1	23（1948）	38	41（1966）	322	59（1984）	26
昭和 2（1927）	2	24（1949）	71	42（1967）	324	60（1985）	15
4（1929）	2	25（1950）	89	43（1968）	418	61（1985）	2
7（1932）	1	26（1951）	125	44（1969）	345	62（1987）	1
9（1934）	2	27（1952）	114	45（1970）	307	63（1988）	1
10（1935）	1	28（1953）	98	46（1971）	313	平成元（1989）	1
11（1936）	2	29（1954）	114	47（1972）	405	3（1991）	1
12（1937）	4	30（1955）	145	48（1973）	431	4（1992）	1
13（1938）	1	31（1956）	206	49（1974）	383	10（1998）	1
14（1939）	3	32（1957）	189	50（1975）	349	年度不明	133
15（1940）	3	33（1958）	179	51（1976）	342		
16（1941）	2	34（1959）	200	52（1977）	345	総 計	8,311

(3) 行政資料

令和元年度は 1,271 冊を収集し、累計は 109,936 冊となった。

年 度	広島県	市町村	国	その他	計	累 計
平成 22 年度まで	36,082	7,227	13,270	34,186	90,765	90,765
23 年度	1,365	201	495	2,570	4,631	95,394
〃（廃棄等）	0	0	0	-2	-2	
24 年度	1,000	215	197	619	2,031	97,425
25 年度	1,155	211	323	1,322	3,011	100,436
26 年度	1,331	79	91	337	1,838	102,005
〃（廃棄等）	-168	-9	0	-92	-269	
27 年度	1,064	314	58	1,005	2,441	104,446
28 年度	1,216	191	47	458	1,912	106,342
〃（廃棄等）	-10	0	0	-6	-16	
29 年度	849	83	22	106	1,060	107,401
〃（廃棄等）	-1	0	0	0	-1	
30 年度	1,014	68	65	117	1,264	108,665
令和 元年度	922	137	21	191	1,271	109,936
計	45,819	8,717	14,589	40,811	109,936	109,936

(4) 古文書

ア 原文書の収集

令和元年度は、2,279 点の寄贈・寄託を受けた。この結果、収集総数は 287,765 点となった。

年度	文 書 名 等	点数 (推定)	寄贈・ 寄託 等	内 容
平成 20 年度まで	竹内家文書, 橋本家文書, 八田家文書, 県議会文書, 山野村役場文書, 広島銀行『創業百年史』編纂資料, 広島築港百年史編纂委員会資料, 長船友則氏収集資料, 波多野家文書ほか	212,946	移管 寄贈 寄託	割庄屋文書, 商家文書, 国会・銀行・地主文書, 県議会議事録, 明治～昭和役場文書, 銀行史文書, 港湾史編纂資料, 中国地方鉄道・全国時刻表ほか
21 年度	後藤陽一資料, 三浦家文書, 得能家文書, 小田家文書, 田辺家文書, 河野家文書ほか	2,113	寄贈 寄託	広大名誉教授収集資料, 「御当国絵図面」, 奴可郡「郡務拾聚録」, 同郡「国郡志御用下調書上帳」, 俳句資料, 賀茂郡川尻村庄屋・村長文書など
22 年度	石津他人氏収集資料, 堀江家文書, 児玉家文書, 藏田家文書, 植田家文書, 長船友則氏収集資料, 井上家文書ほか	2,485	寄贈 寄託	小学校の教師指導書や教科書, 刊本・雑誌, 辞令類, 安芸郡坂村組頭・庄屋・割庄屋, 坂村長文書, 賀茂郡寺家村庄屋文書(免状), 世羅銀行, 貴族院議員関係文書, 中国地方鉄道関係資料, 大田扱芋の売仕切状・書状など
23 年度	臼井家文書, 塙水尾家文書, 楢崎修策氏収集資料, 林義孝氏所蔵資料, 横路家文書, 溝下家文書ほか	3,606	寄贈 寄託	安芸郡本庄村の農業日誌など, 安芸郡吉浦村の真宗経典類など, 明治 20 年代『中国新聞』・『安芸津新報』など, 1960～70 年代の縮景園内建造物復旧図面など, 奴可郡田殿村鉄穴資料, 明治の牧場資料など, 佐伯郡上平良村溝下家の証文, 地券, 証書など
24 年度	児玉家文書, 寺岡家文書, 堀江家文書, 林家文書, 兼田文隆氏所蔵資料, 薦田允彦氏収集文書ほか	6,675	寄贈 寄託	医師収集の和書, 福山藩の村役人文書, 恵蘇郡南村大宮八幡宮関係文書, 陸軍大佐収集の和漢書, 観光映画フィルム原版等, 尾道町の文書など
25 年度	小都勇二資料, 佐々木要氏収集資料, 高橋家文書, 岡本克子氏収集資料, 広島県傷痍軍人会資料ほか	12,322	寄贈 寄託	吉田町郷土史家収集資料, 満州分村常金丸開拓団の文書, 松永町製塩関係や上下田辺家分家の文書, 高屋東村庄屋文書, 解散団体資料など
26 年度	藤原浩修氏所蔵文書, 平野家文書, 広島県信用組合六十年史編纂資料, 森家文書, 広島労音機関紙ほか	5,825	寄贈 寄託	社会運動家資料・文化運動刊行物等, 世羅郡津口村の庄屋文書, 銀行資料, 高田郡秋山村の庄屋文書, 戦後の音楽鑑賞団体機関誌など
27 年度	高路家文書, 栗栖家文書, 清水高雄文書, 谷口博資料, 埴坂道子氏所蔵文書, 松崎家文書ほか	3,111	寄贈 寄託	土地書類等, 広島藩士知行目録等, 日中戦争の「従軍手帳」, 文書関係研究著作, 病院職員の被爆関係資料, 村会議員文書など
28 年度	片山家文書, 小砂家文書, 玉谷家文書, 吉川村役場文書, 栗根家文書, 町野家文書, 高野虎市資料ほか	3,364	寄贈 寄託	和書・郷土図書・軸物, 深津郡野上村・高宮郡下中野村・沼田郡久地村の庄屋文書, 村役場の明治～昭和行政文書, 広島藩士, チャップリンの秘書資料など
29 年度	大藤家文書, 荒木家文書, 児玉家文書, 高下家文書, 小林家文書, 福島家文書, 佐々木家文書ほか	7,534	寄贈 寄託	広島藩士系図等, 佐伯郡下河内村免状等, 山県郡有田村医師和書, 同郡下殿河内村のガラス乾板写真等, 奴可郡保田村名寄帳等, 沼田郡飯室村会議案等, 呉市小学校教員資料など

30年度	和田家文書, 多田家文書, 三浦昇一資料, 松田家文書, 友久武文資料, 榎林家文書, 長船友則氏収集資料など	25,505	寄贈 寄託	佐伯郡割庄屋文書(大竹市重要文化財), 広島藩剣術師範文書, 部落解放・労働運動・社会運動資料, 農業経営帳簿, 田植歌関係資料, 醤油醸造業・酒造業資料, 鉄道図書・写真集・スクラップ・絵葉書など
令和元年度	児玉洋一氏所蔵文書(201901)	1	寄贈	襖下張り文書
	飯島新一郎氏所蔵文書(201902)	1	寄贈	広島藩主浅野宗恒書状
	古田勇文書(201903)	7	寄贈	復員届・引揚証明書・写真アルバムなど
	宇吹暁氏所蔵文書(藤居平一資料)(201904)	264	寄贈	原水禁運動関係資料など
	宮谷家文書(201905)	27	寄贈	賀茂郡浦辺組道程絵図・書画など
	牧村家文書(201906)	112	寄託	広島藩士文書(系図・知行目録・書状など)
	石津家文書(201907)	22	寄贈	広島藩士(明治の当主宛て書状など)
	中曾家文書(201908)	1,246	寄贈	佐伯郡水内村長, 教科書・和書・証文など
	武久家文書(201909)	6	寄贈	亀山村今井田本郷規約書など
	永田和夫氏収集文書(201910)	9	寄贈	教科書
	和氣成祥氏所蔵文書(201911)	2	寄贈	内藤鳴雪・高浜虚子俳句と竹下元知事書翰
	森岡晋氏収集文書(201912)	37	寄贈	広島県地図, 県内地形図など
	土井作治氏所蔵文書(201913)	22箱	寄贈	広島県史など編さん関係, 筆写・複写資料
	濱田家文書(201914)	2	寄贈	佐伯郡地御前村の幕末～明治期世情記録
	松原家文書(201915)	7箱	寄贈	佐伯郡大野村収入役関係文書など
	広島県退職校長会収集資料(201916)	25	寄贈	呉海軍工廠見習工員卒業証など
	永岡家文書(201917)	9箱+7	寄贈	金銭貸附帳・手紙・葉書など
	定森家文書(201918)	122	寄贈	御調郡三原町の酒造関係文書
	佐古家文書(201919)	3	寄贈	三次郡小文村の水揚帳など
	石踊一則氏収集文書(198914)	13	寄贈	奥海田村村葬写真・愛国婦人会辞令など
	梶矢祥弘氏収集文書(200507)	27	寄贈	宇都宮黙霖の対松楼記, 東野村望月宛書簡
	佐々木勝幸氏収集文書(200611)	300	寄贈	大利原・深井家, 三田・檜崎家文書など
	中本佳春氏収集文書(201613)	1	寄贈	御調郡後地村「諸達」(明治8年)
荒木家文書(200810)	3	寄贈	恵蘇郡比和町の旅籠屋願・家宅図など	
高野虎市資料(201622)	3	寄贈	高野虎市へ贈った書の掛軸	
福島家文書(201716)	1	寄贈	川船鑑札	
	令和元年度計	2,279		
	計	287,765		

※1箱は1点とした。

イ マイクロフィルムによる収集

令和元年度は新たな収集は行わなかった。収集総数は715,390点である。

年 度	文 書 名	所 在	コマ数
平成11年度 まで	防衛庁戦史部図書館, 阿蘇家文書, 竹鶴家文書, 藤井家文書, 中垣家文書, 山野村役場文書, 多田家文書ほか	東京都, 向島町, 竹原市, 豊町, 広島市安佐北区, 県立文書館	628,677

12年度	防衛庁戦史部図書館，大儀正夫氏収集文書， 国会図書館史料，能美町教育委員会文書， 山野村役場文書，友近家文書，竹内家文書	東京都，広島市南区，県立文書館， 佐伯郡能美町，広島市安佐北区	53,053
13年度	原田家文書，宮沖家文書，秋本家文書， 山野村役場文書，細川家文書	広島市安佐北区，佐伯郡能美町， 県立文書館	9,352
14年度	防衛庁防衛研究所図書館史料，米田家文書， 原田家文書，「明治の令達」， 大崎町教育委員会所蔵文書	東京都，双三郡吉舎町，広島市安 佐北区，三原市，豊田郡大崎町	5,233
15年度	国立公文書館史料，「明治の令達」	東京都，三原市	6,156
16年度	福原家文書，天野家文書，三上家文書， 近藤家文書，鶴羽根神社文書	東広島市，安芸高田市，広島市東 区	623
17年度	西養寺文書，市立竹原書院図書館（複製）	竹原市	4,057
24年度	榎崎修策氏収集資料（安芸津新報・芸備日日 新聞・中国新聞），広島県行政文書（特別調 査一件など）	県立文書館	8,239
計			715,390

ウ デジタル化による収集

令和元年度は，利用者が業者委託で撮影した行政文書 8,828 コマのデジタル画像を収集した。また，平成 28 年度から始めた大阪朝日新聞・朝日新聞（広島版など）のマイクロフィルム 65 本のデジタル化が終了した。収集総数は 141,414 画像である。

年 度	文 書 群 名	内 容	コマ数
平成 21 年度	長船友則氏収集資料（200407）	広島市・三原市・福山市・呉市等地図 絵葉書	1,273 1,233
22 年度	木村恒氏旧蔵文書（200602）	幕末広島藩海防絵図	25
	三吉鼓家文書（199708）	はね踊りの図（山口素絢画）	5
	竹内家文書（198801）	四日市町並絵図	14
	竹内家文書（198801）	賀茂郡往還筋景色絵図	12
	山田家文書（198810）	広島城下絵図（享和元年）	11
	保田家文書（199603） 広島県広報写真	広島城下絵図（寛永年間） 広報用各種写真	61 74,580
23 年度	広島県移住史関係写真	広島県知事歓迎会写真	9
24 年度	行政文書中の写真	被爆直後と復興の様子，ほか	1,102
	厳島神社文書・野坂文書（県史複製資料） 榎崎修策氏収集資料（201104）	安芸津新報・芸備日日新聞・中国新聞	7,281 3,338
28 年度	小野友五郎家文書（198909）	日記など	2,930
30 年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	10,076
令和元年度	行政文書	引揚者在外事実調査票	8,828
平成 28～ 令和元年度	大阪朝日新聞・朝日新聞 （マイクロフィルム）	広島版など	30,636
計			141,414

2 整理

(1) 行政文書

行政文書は、完結後 30 年を目途に再選別を行い、保存することになった文書について、件名目録（文書一件ごと、すなわち各起案文書、收受文書ごとの目録）を作成し、簿冊ごとに概要を記述する。令和元年度は、再選別・整理を実施しなかった。

(2) 行政資料

行政資料については、各課の資料について行政情報コーナーを通じて収集したもの、廃棄予定文書の中から収集したもの、当館に送付されてきたものなどを発行主体別に整理した。

区 分	整理点数
広島県発行	922
市町村発行	137
国発行	21
その他発行	191
計	1,271

(3) 古文書

令和元年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	整理点数	データ件数
198811	安芸国高田郡上甲立村 三上家文書	49	64
198914	広島市 石踊一則氏収集文書	13	13
199401	広島市 永井彌六氏収集文書	205	211
199509	安芸国賀茂郡国近森近村 木原家文書	12	42
199807	安芸国広島浅野家家中 川上家文書	2	41
199904	広島県安芸郡坂町 坂町漁業協同組合文書	0	18
200407	広島市 長船友則氏収集資料	3,093	3,113
200507	広島県安芸郡熊野町 梶矢祥弘氏収集文書	27	28
200611	広島県安芸郡熊野町 佐々木勝幸氏収集文書	583	645
200712	広島県安芸郡海田町 中本佳春氏収集文書	15	15
200810	備後国恵蘇郡比和町 荒木家文書	3	3
201609	備後国深津郡野上村 小砂家文書	624	720
201612	広島県賀茂郡 吉川村役場文書	1	3
201622	広島市 高野虎市資料	3	3
201805	安芸国広島城下浅野家家中 多田家文書	211	277
201823	広島市 奥一浩氏所蔵文書	4	4
201901	広島県府中市 児玉洋一氏所蔵文書	1	1
201902	長野県 飯島新一郎氏所蔵文書	1	1
201903	広島市 古田勇文書	7	7
201905	安芸国賀茂郡阿賀村 宮谷家文書	27	24
201906	安芸国広島城下浅野家家中 牧村家文書	112	124

201907	広島県安芸郡中山村 石津家文書	22	25
201821	安芸国高宮郡今井田村 武久家文書	6	6
201822	広島市 永田和夫氏収集文書	9	9
201912	三次市 森岡晋氏収集文書	37	38
201916	広島市 広島県退職校長会収集資料	25	25
201919	備後国三次郡小文村 佐古家文書	3	3
計		5,095	5,463

※ 整理点数とデータ入力件数が一致しないのは、集合資料1点の内訳を入力する場合があったり、逆に複数の資料を1つのレコードでまとめて入力したりすることによる。

また、次の古文書について、ホームページに仮目録を掲載した。

群番号	文書群名	点数	データ件数
200003	広島市 広島信用金庫五十年史資料	1,145	1,621
200407	広島市 長船友則氏収集資料	3,093	3,113
200612	安芸国賀茂郡竹原町 吉井家文書	2,944	8,753
計		7,182	13,487

※ 整理点数とデータ入力件数が一致しないのは、集合資料1点の内訳を入力する場合があったり、逆に複数の資料を1つのレコードでまとめて入力したりすることによる。なお、長船友則氏収集資料（200407）は平成30年度の追加寄託分を増補して掲載した。

(4) 複製資料

開館後にマイクロフィルム等により撮影した複製資料について、令和元年度は、次の文書群について整理とデータベースへの入力を行った。

群番号	文書群名	ファイル数	データ件数
P198801	備後国御調郡中庄村 宮地家文書	39	39
P198802	安芸国賀茂郡上保田村 平賀家文書	35	35
P198804	広島県高田郡吉田町 田丸哲也氏所蔵文書	3	3
P198805	備後国御調郡因島 因島村上家文書	3	3
P198807	安芸国山県郡坪野村 梶谷家文書	20	20
P198902	安芸国広島浅野家家中 平尾家文書	43	45
P198904	安芸国佐伯郡大野村 大頭神社文書	1	1
P198906	安芸国佐伯郡大野村 中丸（匡）家文書	195	195
P199001	広島県安芸郡熊野町 台沖忠氏所蔵文書	1	1
P199002	広島県安芸郡熊野町 佐々木勝幸氏所蔵文書	1	1
P199004	広島県尾道市 朝井証善氏収集文書	1	1
P199008	広島市 有元正雄氏収集文書	1	1
P199009	広島県佐伯郡佐伯町 玉田彰氏収集文書	1	1
P199011	安芸国安芸郡海田市 千葉家文書	8	8
P199102	安芸国佐伯郡永原村 八田（一）家文書	9	9
P199103	備後国御調郡宮内村 田中家文書	199	204
P199104	広島県佐伯郡 佐伯町役場文書	13	13
P199105	広島県廿日市市 斉藤家文書	2	2
P199106	安芸国佐伯郡永原村 中本家文書	1	1

P199201	安芸国佐伯郡大王村 専念寺文書	2	2
P199205	広島県山県郡加計村 井上家郷惣代文書	32	32
P199305	広島県立文書館所蔵 広島県勸業年報	29	29
P199306	広島県竹原市 竹原市立竹原書院図書館所蔵文書	35	35
P199307	備後国御調郡江木村 山科家文書	52	52
P199423	広島県世羅郡世羅西町 長谷川春秋氏収集文書	229	233
P199502	備後国奴可郡小串村 田辺（小串）家文書	41	41
P199503	備後国奴可郡竹森村 名越（真安）家文書	30	30
P199509	備後国奴可郡西城町 江木家文書	22	22
P199510	備後国奴可郡入江村 伊藤家文書	5	5
P199511	備後国奴可郡大佐村 鹿川家文書	1	1
P199512	備後国奴可郡大屋村 山口家文書	1	1
P199517	広島市京橋町 保田家文書	3	29
P199603	安芸国山県郡穴村 正覚寺文書	2	2
P199609	広島市 伴家文書	70	70
P199611	備後国恵蘇郡田原村 岩竹家文書	1	1
P199612	広島県庄原市 三玉浩正氏収集文書	7	7
P199613	安芸国山県郡西宗村 前田家文書	12	17
P199614	広島県福山市野上町 聡敏講文書	11	13
P199615	広島市 高垣恵郎氏収集文書	2	2
P199801	備後国豊田郡忠海村 荒木家文書	2	2
P199802	備後国豊田郡忠海村 羽白家文書	1	1
P199803	備後国豊田郡忠海村 西養寺文書	13	13
P199902	安芸国山県郡穴村 藤井家文書	91	166
P200003	広島県佐伯郡 能美町教育委員会所蔵文書	27	27
P200103	広島県安佐郡飯室村 原田家文書	137	349
P200402	安芸国安芸郡明星院村 鶴羽根神社文書	36	73
計		1,470	1,838

※ ファイル数とデータ件数が一致しないのは、ファイル1冊に複数の資料があったり、逆に1点の資料が複数のファイルにわたる場合があることによる。

3 保 存

(1) 殺虫殺菌処置

ア 燻蒸処置

7月29日(月)から31日(水)まで観音書庫において、9月27日(金)から30日(月)まで業者の燻蒸室において、次の文書について、業者委託によりエキヒュームSによる燻蒸を実施した。

文書群名など(登録番号)	箱数
行政文書	80箱
岡田家文書	55箱
榎林家文書(201820)	79箱
霹靂神社文書(201814)	13箱
松田家文書(201813)	63箱
友久武文資料(201818)	7箱
福島家文書(201716)	2箱
荒木家文書(201702)	6箱
佐々木勝幸氏収集文書(200611)	3箱
多田家文書(201805)	4箱
中曾家文書(201908)	22箱
計	334箱

イ 低温殺虫処置

低温殺虫処置や水損文書の冷凍保管に活用するため大型冷凍庫を購入し、荷解整理室に設置した。令和元年12月18日(水)から令和2年2月21日(金)まで、土井作治氏収集資料(201913, 段ボール箱20箱分)を低温殺虫処置した。

(2) 平成30年7月豪雨災害の被災資料保全活動

「平成30年7月豪雨」災害で被災し、当館でレスキューした文書のうち、当館に寄贈された榎林家文書(201820)の保全活動を継続して行った。活動にあたっては、広島歴史資料ネットワークや各地からボランティアの支援を得た。

保全活動は月4回(隔週火曜日・木曜日)とし、毎回7~8名のボランティアと職員1~2名が参加した(参加延べ人数 ボランティア221名、職員52名)。活動内容は、乾燥した冊子や書簡類の開披とドライクリーニング、文書1点ずつの現状記録の作成などである。被災文書の安定化の作業が一段落したため、当館でのボランティア活動は12月で終了した。

活動への技術的支援として、10月3日に国立歴史民俗博物館の天野真志氏から乾燥後の被災資料への対処や保管について指導を受けた。また、被災した掛軸類の洗浄と保管については、5月23日、6月25日、9月24日、10月3日に東北大学の安田容子氏から指導を受けた。11月28日の活動には、国立歴史民俗博物館と東京大学史料編纂所から8名のボランティアが参加した。

(3) 書庫の保存環境改善

平成28年12月に発生した第5書庫でのカビ被害への対応策として、令和元年度も引き続き次のような処置や作業を行うとともに、各書庫の書庫環境の改善に努めた。

ア 温湿度のモニタリングと管理

館内の各書庫・マイクロ保管庫・展示室・荷解室及び観音書庫・白木書庫に設置した計26台のデータロガーで温湿度を計測し、温湿度の変化を記録管理した。館内の各書庫等の毎週の温湿度計

測の結果は業務日誌に記載し、館内で情報を共有した。また、新たに手持ち式デジタル温湿度計を購入し、書庫内各所の温湿度を細かく計測して除湿対策に活用した。

館内各書庫の空調管理を担当する広島県情報プラザの中央監視室とデータロガーで計測した温湿度の情報を共有し、温湿度の数値に急激な変化がある場合は双方で協議し、空調の温度設定を調節して適切な温湿度の維持に努めた。

第4書庫では、6月8日に空調機内部の配管が劣化して破損し、水漏れが発生したため空調機を停止し、業者による応急処置を行った。第5書庫でも、8月1日に空調機内部の配管が破損したため、同様に対処した。

令和元年度の館内各書庫の相対湿度は60%以下に保たれ、新たなカビの発生は見られなかった。

イ 館内書庫内の除湿と通風の強化

今年度も、新たに業務用大型除湿機3台を購入し、各書庫内の除湿の強化に努めた。

第5書庫内では、6月から11月まで、業務用大型除湿機2台、大型家庭用除湿機1台を稼働させた。除湿機の自動排水用として書庫内の通路奥側に排水用パンを設置し、9月13日から業務用大型除湿機1台の自動排水を開始した。また、除湿機の下には水漏れへの備えとして防水用パンを設置した。他の書庫に設置した業務用大型除湿機なども、温湿度の状況を見ながら、6月から11月まで稼働させた。

書庫内の通風対策としては、大型サーキュレーター3台を年間24時間稼働させた。第5書庫の集密書架のレーンは常に等間隔に開け、定期的に書架を動かして通風に配慮した。また、第5書庫内の空調吹出口すべてに冷気を循環させるプロペラ（エコプター）を設置した。第4・第5書庫の前室には空調設備がないため、夏季には除湿機とサーキュレーターを稼働させて、除湿と空気循環の促進に努めた。

書庫奥側の湿度が高い第2書庫（複製資料庫）では、空調の運転が止まる夜間に、奥側のレーンを常時開けて小型のサーキュレーターから送風し、書庫内の空気循環に努めた。11月12日には、排気ファンの故障が判明し、応急処置を行った。

外気の影響を受けて湿度の変動が激しい荷解整理室では、自動排水の業務用大型除湿機3台を24時間稼働させた。また、空調設備の運転が止まる夜間には、新たに設置したエアコン2台を稼働させ、室内の湿度を60%以下に保つように努めた。

ウ 虫菌の遮断

第5書庫内では、空気清浄機4台を稼働させてカビの原因となる浮遊菌の除去に努めた。各書庫の入口に設置した粘着マットのシートは1週間に1度交換した。各書庫と荷解整理室入口ドア下には隙間ブラシを設置し、文化財害虫の侵入を防いだ。また、各書庫入口には除菌スプレーを常備し、職員が入庫する際に使用している。

書庫内35か所に設置した虫トラップによる害虫モニタリング調査も継続して実施し、毎週月曜日に虫の捕獲数を確認して業務日誌に記載し、館内で情報を共有した。結果は月ごとに集計し、捕獲数が多い場合には隙間の点検などを行って対処した。

荷解整理室への虫の侵入と空気の流入を防止するため、9月13日にシャッター上部に隙間ブラシを設置する工事を行った。窓の内側にも養生パネルを貼った。

新規に受け入れた古文書は荷解室に別置きし、目視で状態をチェックしてカビや虫害が確認できた古文書は薬剤（エキヒュームS）による殺虫・殺菌燻蒸を実施した。受け入れた古文書は1点ずつドライクリーニングを行い、虫菌や埃塵のない清潔な状態で書庫に搬入して保存した。文書の保存箱には防虫剤（エコミュアーFTプレート）を入れて書架に配架した。

エ カビ発生文書への対処と書庫の清掃

カビが発生し、平成29年度に燻蒸処置した行政文書（長期保存文書）については、文書整理ケースの表面のカビの残滓が栄養源となって新たなカビが再発生する恐れがあるため、平成30年度から文書整理ケースの入れ替え作業と書架の清掃を行っている。今年度も、毎週水曜日の午前中2時間、24回の作業を継続し、2,535冊の文書整理ケースを入れ替えた。文書整理ケースのカビ残滓の状態も定期的に観察し、燻蒸済みの文書に新たなカビの発生がないか確認した。

書庫環境を清潔に保つため、書庫入口に書架の棚と床清掃用のモップを常備し、書庫前室や書庫内の通路の拭き掃除を行った。各書庫の大清掃は12月25日に実施した。除湿機、空気清浄機、空調機のフィルターの清掃と交換も、定期的に行った。

オ 観音書庫と白木書庫の環境管理

中間書庫の保存環境を把握するため、観音書庫と白木書庫に設置したデータロガーで温湿度のモニタリングを継続し、定期的にデータを確認した。

観音書庫の清掃は、5月15日と10月16日に実施し、書庫内の窓を開けて通風を行うとともに、書庫内の床や棚の掃除などを行った。白木書庫の清掃も、令和2年2月13日に実施した。白木書庫では一部の書棚の下段にカビが発生していたため、清掃時に発生したカビを消毒用エタノールでふき取り、除菌作業を行った。

カ マイクロフィルム保管庫の環境管理

マイクロ保管庫では、湿度を下げるために除湿機を使用しているが、夏季の除湿機稼働は室内の温度上昇を招くため、湿度の変動をモニタリングしながら、除湿機の稼働状態を調節し、安定した湿度を保てるように努めた。

保管庫内では、保存フィルムの劣化による酢酸臭対策として、吸湿材（シリカゲル）、酢酸吸着シート、フィルム保存剤（モレキュラーシーブ）をキャビネットに入れて、定期的に交換した。

映画フィルム（2012年に受入）のフィルム保存剤（モレキュラーシーブ）の入れ替えも行った。

(4) 湿式コピー

広島県史編さん室が湿式複写機を使用して収集した複製資料には、銀鏡化によって判読できなくなっているものが少なくないため、平成28年度から乾式コピーまたはデジタル化による複製作成を開始した。令和元年度は次の複製資料について実施した。

群番号	文書群名	冊数
P 12-7	東広島市役所高屋支所文書	1
P47-3	稲葉家文書	1
P49-1	上北方第一公民館所蔵文書	1
P92-47	相原秀次「ヒロシマ日誌」	1
P 97-69	竹原精一「病中日誌」	1
計		5

(5) フィルム

広島県史編さん室が撮影した写真フィルム、又は当館が開館後に撮影したマイクロフィルムなどのうち、PETベースフィルムはビネガーシンドロームにより劣化が進んでいるものが少なくない。中には、現在では再撮影などが困難なものも含まれるため、平成29年度にフィルムスキャナーを購入し、デジタル化による複製作成を開始した。令和元年度は次のマイクロフィルムについて実施した。

市町村名（撮影当時）	文書群数	フィルム本数（コマ数）
御調郡御調町	1	18（15,889コマ）
佐伯郡五日市町	1	1/5（93コマ）
安芸郡下蒲刈町	1	6（3,219コマ）
安佐郡可部町・佐東町・安佐町、神石郡油木町・神石町、山県郡千代田町・大朝町、高田郡八千代町（田植唄）	16	2（810コマ）
安芸郡江田島町（広島県史ネガボジアルバム）	1	—（75コマ）

4 利 用

(1) 総括表

年 度	開館日数 (日)	来館者数 (人)	内 容					利用券 発行数
			閱 覧	利用相談等	見 学	展示観覧	講座等	
平成30年度まで	8,901	150,236	31,191	11,131	4,965	47,257	55,692	6,755
平成31年4月	24	479	91	50	0	289	49	26
令和元年5月	22	435	116	65	0	225	29	30
6月	25	897	122	79	53	230	413	22
7月	26	605	111	62	1	218	213	21
8月	25	363	136	46	0	86	95	31
9月	23	422	120	61	0	81	160	22
10月	25	480	113	52	0	161	154	32
11月	24	576	106	69	0	204	197	26
12月	23	373	100	70	0	100	103	20
令和2年1月	22	281	100	29	0	55	97	19
2月	23	344	107	30	8	104	95	26
3月	6	73	45	11	0	17	0	11
令和元年度計	268	5,328	1,267	624	62	1,770	1,605	286
計	9,169	155,564	32,458	11,755	5,027	49,027	57,297	7,041

※ 臨時休館 8月15日(木)台風10号

3月9日(月)～ 新型コロナウイルス感染拡大防止(5月23日まで)

(2) 文書の出納・複写状況

年 度	総 数 (冊)	内 訳						複写枚数(枚)
		行政文書	行政資料	図書等	開架図書	古文書	複製資料	
平成30年度まで	176,540	14,604(3,518)	3,239	25,715	4,538	77,126	51,318	492,143
平成31年4月	490	45(3)	1	59	12	292	81	418(19)
令和元年5月	955	39(11)	2	94	18	677	125	550(1)
6月	700	63(29)	29	239	31	286	52	591(16)
7月	1,189	87(36)	39	34	23	989	17	455(19)
8月	1,286	84(62)	3	92	25	919	163	1,559(55)
9月	620	2(0)	34	116	35	237	196	372(49)
10月	549	30(17)	11	118	43	228	119	1,001(1)
11月	598	58(3)	1	78	20	364	77	968(14)
12月	623	46(21)	8	16	19	467	67	754(0)
令和2年1月	538	9(5)	3	54	54	245	173	587(33)
2月	569	43(8)	35	13	39	242	197	646(5)
3月	252	65(37)	0	8	12	76	91	152(0)
令和元年度計	8,369	571(232)	166	921	331	5,022	1,358	8,053(212)
計	184,909	15,175(3,750)	3,405	26,636	4,869	82,148	52,676	500,196

※ 行政文書欄の()は、県職員の利用を内数で示した。複写枚数欄の()は、デジタルデータの複写申請があったデータ数を外数で示した。

(3) 地域別利用券発行状況

(単位：人、%)

区 分		平成 28 年度まで	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	計	割 合
県 内	広島市内	2,998	142	135	154	3,429	48.7
	広島市外	1,727	78	87	58	1,950	27.7
	計	4,725	220	222	212	5,379	76.4
県 外		1,405	85	76	72	1,638	23.3
外 国		20	0	2	2	24	0.3
計		6,150	305	300	286	7,041	100.0

(4) 職業別利用券発行者数

(単位：人、%)

区 分	平成 28 年度まで	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	計	割 合
会社員	1,014	58	40	58	1,170	16.6
自営業(農業を含む)	204	8	9	18	239	3.4
公務員	775	34	31	27	867	12.3
小中高校教員	177	5	4	5	191	2.7
大学教員	802	31	34	33	900	12.8
学生	776	34	66	26	902	12.8
大学院生	420	24	9	9	462	6.6
無職(不明を含む)	1,982	111	107	110	2,310	32.8
計	6,150	305	300	286	7,041	100.0

(5) 年代別・男女別利用券発行者数

(単位：人・%)

区 分		平成 28 年度まで		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		計		割 合
10 歳～	男	59	122	0	3	1	5	1	1	61	131	1.9
	女	63		3		4		0		70		
20 歳～	男	829	1,317	30	59	48	80	25	44	932	1,500	21.3
	女	488		29		32		19		568		
30 歳～	男	805	962	27	37	25	32	29	35	886	1,066	15.1
	女	157		10		7		6		180		
40 歳～	男	760	955	37	52	26	42	45	58	868	1,107	15.7
	女	195		15		16		13		239		
50 歳～	男	691	858	28	35	26	35	37	49	782	977	13.9
	女	167		7		9		12		195		
60 歳～	男	990	1,100	48	59	49	56	33	37	1,120	1,252	17.8
	女	110		11		7		4		132		
70 歳～	男	743	789	53	57	46	50	57	61	899	957	13.6
	女	46		4		4		4		58		
不 明	男	35	47	3	3	0	0	0	1	38	51	0.7
	女	12		0		0		1		13		
計	男	4,912	6,150	226	305	221	300	227	286	5,586	7,041	100.0
	女	1,238		79		79		59		1,455		

(6) 文書の貸出し(展示のみ)

ア (公財)広島市文化財団 広島市立中央図書館(企画展「江戸時代の人々の暮らし」) 令和元年 4 月 13 日(土)～6 月 12 日(水) (保田(義)家文書 3 点, 岩室家文書 4 点)

- イ 尾道市因島水軍城（因島水軍城特別展（尾道遺跡発掘調査研究所出張展示会）「関船から弁才船へー瀬戸内海における軍船から廻船への歴史ー」）令和元年8月2日（金）～10月16日（水）（橋本家文書1点，渋谷家文書2点，青木茂氏旧蔵文書1点）
- ウ 香川県立ミュージアム（夏の特別展「祭礼百態ー香川・瀬戸内の「風流」」）令和元年8月3日（土）～9月7日（土）（千葉家文書1点，竹島浅吉氏収集文書1点，保田（義）家文書1点）
- エ 広島県立歴史博物館（浅野氏広島城入城400年記念事業 頼山陽史跡資料館企画展「広島藩の学問と文化」）令和元年9月12日（木）～10月20日（日）（平賀家文書1点，山田家文書1点，岩室家文書1点，竹島浅吉氏収集文書1点，吉井家文書1点，兒玉家文書1点，高橋家文書1点）
- オ 広島修道大学（浅野氏広島城入城400年記念事業 企画展「広島藩藩校ゆかりの人々と書物」）令和元年10月9日（水）～11月7日（木）（岩室家文書1点，竹島浅吉氏収集文書4点）
- カ （公財）広島市文化財団 広島市立中央図書館（浅野氏広島城入城400年記念事業 企画展「浅野家と広島藩～初代長政から最後の藩主長勲まで～」）令和元年9月16日（土）～11月7日（日）（竹内家文書2点，大知家文書1点，保田（義）家文書1点）
- キ （公財）広島市文化財団 広島市郷土資料館（浅野氏広島城入城400年記念事業 特別展「広島町新開絵図」にみる浅野時代の広島城下」）令和元年12月7日（土）～令和2年2月24日（月）（山田家文書1点，保田（義）家文書2点）

(7) 出版物等への掲載許可

当館収蔵資料40件（136点）について出版物等への掲載を許可した。内訳は次のとおりである。

申請者分類	件数	点数
マスコミ（新聞・テレビ等）	12	79
行政機関（公立博物館・自治体史等）	16	32
個人	8	13
出版社	0	0
その他（企業・寺社・団体等）	4	12
計	40	136

(8) レファレンスサービス

当館の受付カウンターで直接質問を受けるほか，手紙・電話・ファクス・電子メールなどの依頼を受けて，必要な情報や文書資料・文献の提供を行っている。

(1)の受付カウンターでの「利用相談」以外に，手紙・電話・ファクス・電子メールなどによる令和元年度のレファレンスサービスの総数は498件であった。

(9) ホームページのアクセス数

令和元年度のホームページの延べアクセス件数は，81,905件であった。内訳は次のとおりである。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	6,590	7,723	6,613	6,765	8,340	6,213	6,440	6,528	6,649	7,176	5,895	6,973	81,905

(10) その他

閲覧室に書架を増設し，利用の多い中国新聞複製資料1,079冊を書庫から移して開架し，自由にお覧できるようにした。

5 展示・普及啓発

郷土の歴史に関する学習の機会を提供するとともに、文書等資料の歴史的価値についての認識を深めるため、次の事業を実施した。

(1) 展 示

ア 収蔵文書展

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
古文書にみる広島藩士の肖像	西 村	平成31年3月29日(金) ～令和元年6月8日(土)	55日間	62点	729名

※ 「災害を語る歴史資料」をテーマに、令和2年3月27日(金)～6月13日(土)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月9日(月)から臨時休館としたことにより、次年度に改めて開催することになった。

イ 常設展（収蔵文書の紹介）

常設展では、次のテーマで収蔵文書の紹介を行った。

テ ー マ	担 当	期 間	日 数	点 数	観覧者数
写真展 芸備線の軌跡	西向	令和元年6月24日(月) ～9月21日(土)	74日間	112点	308名
築港130周年－広島港のあゆみ－	荒木	令和元年10月7日(月) ～令和2年1月10日(土)	74日間	84点	435名
新たに収集した文書から	西村	令和2年1月20日(月) ～3月7日(土)	40日間	15点	152名

※ 展示点数はパネル写真なども含む。展示観覧者数は、持ち帰られた展示図録の数をもとにしている。

「築港130周年－広島港のあゆみ－」は令和元年12月27日(金)までの予定であったが、好評のため令和2年1月10日(土)まで延長した。また、「新たに収集した文書から」は3月21日(土)までの予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月7日(土)で打ち切った。

ウ その他

常設展「新たに収集した文書から」の期間中、説明パネルをあわせて展示した。

期 間	日数	内 容	パネル数
令和2年1月20日(月)～3月7日(土)	40日間	古文書の紙の使い方・折り方 花押・印章 宛名と敬意・脇付	3枚 3枚 2枚

(2) 講演会

収蔵文書展にちなんで次のとおり講演会を実施した。講演会終了後、収蔵文書展の展示解説と書庫見学を実施した。

開催日	令和元年6月1日(土)10時～12時
会 場	広島県情報プラザ第1・第2研修室
講 師	西 村 晃 (当館研究員(エルダー))
テーマ	「古文書に見る広島藩士の肖像」
受講者数	155名

(3) 古文書解読講座の開催

ア 古文書解読入門講座

59名を対象として、令和元年6月から10月までの第2・第4土曜日（午前10時から12時まで）に開催した。7回以上の出席者50名に修了証書を授与した。

回	月 日	担 当	内 容
1	6月8日	西 村	ガイドンス，古文書解読の基礎知識
2	6月22日	長 沢	近世武家文書「武家諸法度」
3	7月13日	〃	〃 「三次藩断絶関係文書」
4	7月27日	西 村	古文書取扱講習，文書館業務説明，文書館見学
5	8月10日	西 村	近世「人別送り状と往来手形」
6	8月24日	西 向	近世「尾道湊の文書」広島城下商家の文書
7	9月14日	西 村	近世「広島初代藩主浅野長晟の文書」
8	9月28日	西 向	近世「瀬戸内廻船の文書」
9	10月12日	西 村	近世「広島の安政地震の記録」
10	10月26日	荒 木	近代「廃藩置県と武一騒動」，修了式

*第9回は、台風接近による交通事情のため開始時間を15分遅らせた。第2・3回は外部講師。

イ 続古文書解読入門講座

38名を対象として、令和元年9月から令和2年3月までの毎月第3土曜日（午前10時から2時間）、全7回開催する予定であったが、第7回（3月13日）は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止し、その回を出席扱いとして5回以上の出席者36名に修了証書を授与した。

回	月 日	担 当	内 容
1	9月21日	西 向	備後府中商家の履歴書付
2	10月19日	長 沢	元治元年(1864)～慶応2年(1866)の長州戦争(第1・2次長州征伐)に関係して、広島藩が領内に発令した触書類
3	11月16日	〃	
4	12月21日	西 村	享保4年(1719)，安永4年(1775)，同5年の広島城下町「堀川町覚書」(堀川町年寄の御用留) ①在国中の藩主 ②因地打騒動 ③城下町の年中行事
5	1月18日	〃	
6	2月15日	〃	

第2・3回は外部講師。

(4) 行政文書・古文書保存管理講習会（広文協との共催）

歴史資料として重要な行政文書及び古文書などの散逸防止、適正な管理及びその利用に関して、市町等の職員を対象に次のとおり実施した。

なお、令和元年度は行政文書と古文書の分科会方式は採らなかった。

日 時	令和元年11月21日(木)10時～15時15分
場 所	広島県情報プラザ第1研修室
参加者	30名
内 容	講演会 「市町村と連携した公文書等の適切な保存及び利活用の推進について」 国立歴史民俗博物館 特任准教授 天 野 真 志 ワークショップ 「災害発生時の初期対応を考える」 神戸大学大学院人文学研究科 特命講師 吉 川 圭 太

(5) 大学等学外実習

ア 安田女子大学「古文書学実習」の学外実習

日 時	令和元年 7 月 19 日 (金) 9 時 30 分～16 時 30 分		
場 所	文書館研修・会議室, 閲覧準備室		
参加者	安田女子大学文学部日本文学科 引率教員 島田大助		
	安田女子大学文学部日本文学科 3 年生 11 名		
内 容	講 義		
	1 ガイダンス	主任研究員	西 向 宏 介
	2 文書館学概論 (見学を含む)	総括研究員	荒 木 清 二
	3 古文書の収集・整理・保存	主任研究員	西 向 宏 介
	4 文書館保存の現状と問題点	研究員 (エルダー)	西 村 晃
	5 古文書の補修と保存 (実習を含む)	主任研究員	西 向 宏 介
		嘱 託 員	下向井 祐 子
嘱 託 員		日 高 愛	
	嘱 託 員	長谷川 紫	

イ 比治山大学「博物館資料保存論」授業

日 時	令和 2 年 1 月 17 日 (金) 10 時～12 時		
場 所	文書館研修・会議室, 閲覧準備室		
参加者	比治山大学現代文化学部 引率教員 伊藤 実		
	比治山大学現代文化学部 2 年生 14 名		
内 容	実 習 (文書の補修)	嘱 託 員	下向井 祐 子
		嘱 託 員	日 高 愛

ウ 県立広島大学「博物館資料保存論」授業

日 時	令和 2 年 2 月 6 日 (木) 13 時～15 時		
場 所	文書館研修・会議室, 閲覧準備室		
参加者	県立広島大学人間文化学部 引率教員 大知徳子		
	県立広島大学人間文化学部 3 年生 10 名		
内 容	実 習 (文書の補修)	嘱 託 員	下向井 祐 子
		嘱 託 員	日 高 愛

(6) 連携事業

ア 県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座

令和元年 6 月 21 日から 7 月 5 日までの金曜日 (午後 2 時から午後 3 時 30 分まで), 「日本文化における色彩」を統一テーマとして, 当館研修会議室において, 3 回連続の公開講座を開催した。なお, 第 2 回講座開始前の 15 分間, 利用案内・展示案内などの文書館ガイダンスを行った。

回	月 日	講 師	内 容	参加者
1	6 月 21 日	人間文化学部准教授 高松亮太	古典文学の色彩表現	56 名
2	6 月 28 日	人間文化学部教授 西本寮子	王朝文学と色彩	48 名
3	7 月 5 日	人間文化学部教授 鈴木康之	色絵磁器の成立—備後姫谷焼を中心に—	56 名

イ 広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座

令和元年11月8日（金）・9日（土）の午前10時15分から12時まで、「古典の日」関連事業として、当館研修会議室において、当館が窓口となり2回連続の公開講座を開催した。

回	月 日	講 師	内 容	参加者
1	11月8日	大学院文学研究科歴史文化学講座 教 授 金子 肇	皇帝になろうとした大総統：袁世 凱と中国の近代国家形成	33名
2	11月9日	大学院文学研究科歴史文化学講座 准教授 奈良勝司	学歴主義と明治維新	38名

(7) 「広島県立文書館だより」第44号の発行（令和2年3月16日）

内 容	
【表紙】	旧陸軍被服支廠に関する収蔵資料 総括研究員 荒 木 清 二
【寄稿】	ご先祖と出会う喜びー私の文書館活用法ー 熊 野 良 樹
【収蔵文書展に寄せて】	八木・緑井の歴史と災害を語る文書 主任研究員 西 向 宏 介
【閲覧室から】	新聞資料と閲覧室のリニューアル
【その他】	平成30年度に収集した古文書 平成30年度の主なできごと

(8) 第14回中国四国地区アーカイブズウィーク（6月1日～7日）

第14回中国四国地区アーカイブズウィークの事業として、次のとおり行事を実施した。行事の広報のためにチラシを作成した。

- ア 収蔵文書展「古文書にみる 広島藩士の肖像」平成31年3月29日（金）～6月8日（土）
観覧者数 729名
- イ 文書館講演会 西村 晃（当館研究員）「古文書にみる 広島藩士の肖像」
6月1日（土） 受講者数 155名
- ウ 文書館書庫見学（6月1日） 参加者 53名
- エ 古文書解読入門講座（6月8日～10月26日 計10回） 受講者 59名
- オ 令和元年度広島県市町公文書等保存活用連絡協議会（広文協）総会（5月22日）参加者 39名
[報告] 西向宏介（広島県立文書館）「広島県における被災文書の救出と保全活動について」
[講演] 山本太郎氏（倉敷市総務課歴史資料整備室）「倉敷市における被災公文書救出と修復の
取り組みについて」

6 研究・研修・調査

(1) 研究

ア 『広島県立文書館紀要』第15号の発行（令和2年3月31日）

主として平成20年度以降の館の取組や研究成果を『広島県立文書館紀要』第15号（開館30周年記念号）としてまとめ、ホームページに掲載した。（印刷製本は次年度）

内 容	
開館30周年を振り返って	館長 平岡典昭
開館30周年に寄せて—広島県立文書館関係者からの寄稿—	松浦義輝・角正明・荒川数昭・安藤福平・長沢洋・数野文明
【文書館業務論】	
広島県立文書館における「平成30年7月豪雨」被災文書のレスキューと保全活動	主任研究員 西向宏介 嘱託員 下向井祐子
広島県立文書館における歴史公文書の再選別について 県立高等学校の業務と文書—学校運営業務の分析をとおして—	総括研究員 荒木清二 県立賀茂高等学校教諭（元主任研究員） 三浦豊
古文書解説入門講座「古文書取扱い講習」の「保存業務の説明」について	研究員（エルダー） 西村晃
【年表】	広島県立文書館の20年から30年

イ 資料集第10集の刊行

広島県立文書館資料集第10集として、『村上家乗 安政三年・四年』（広島大学文学部日本史研究室所蔵）を6月1日に刊行した。

(2) 研修・会議への参加・報告

ア 日本アーカイブズ学会 2019年度大会（1名）

平成31年4月20日（土）～21日（日） 学習院大学 南3号館

イ 広島県教育委員会文化財課主催 平成元年度市町文化財行政担当者会議（1名）

令和元年5月21日（火） 広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）

ウ 全国公文書館長会議（1名）

令和元年6月6日（木）～7日（金） 東京都 ベルサール飯田橋ファースト

エ (一財)行政管理研究センター「公文書管理セミナー」（1名）

令和元年6月10日（月） ニッショーホール（日本消防会館5階 大会議室）

オ 芸備地方史研究会「2019年度芸備地方史研究会大会」（1名）

令和元年6月30日（日） 広島県情報プラザ第1・2研修室
報告：西向宏介（主任研究員）「広島県立文書館における被災文書の保全活動」

- カ (公財)文化財虫菌害研究所「第41回文化財の虫菌害・保存対策研修会」(1名)
令和元年7月4日(木)～5日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター
研修報告:下向井祐子(当館嘱託員)「広島県立文書館におけるカビ被害と保存環境改善の取り組み事例について」
- キ 令和元年度広島県歴史民俗資料館等連絡協議会 第77回研究会「学校の博物館・資料館の現状と課題 その2」(1名)
令和元年7月25日(木) 北広島町芸北支所
- ク 国立公文書館「令和元年度アーカイブズ研修Ⅰ(初任者研修)」(1名)
令和元年8月26日(月)～30日(金) 朝日生命大手町ビル(東京都)
- ケ 文化庁「2019年度図書館等職員著作権実務講習会」(1名)
令和元年9月26日(木)～27日(金) 京都大学吉田キャンパス
- コ 九州国立博物館「令和元年度IPMセミナー」(2名)
令和元年10月23日(水) 九州国立博物館
- サ 「令和元年度中国・四国地区文書館等職員連絡会議」(1名)
令和元年10月31日(木)～11月1日(金) 香川県立文書館2階視聴覚ホール
- シ 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館「2019年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)短期コース」(1名)
令和元年11月4日(月・祝)～11月9日(土) くまもと森都心プラザ(熊本市)など
- ス (公財)文化財虫菌害研究所「文化財IPM実践のための研修会」(1名)
令和元年11月7日(木)～8日(金) 東京都 新宿歴史博物館
- セ 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会「第45回全国(安曇野)大会及び研修会」(2名)
令和元年11月14日(木)～15日(金) 豊科公民館(長野県安曇野市)
- ソ 令和元年度広島県歴史民俗資料館等連絡協議会 第78回研究会「防災と資料館～文化財レスキューの体制を考える～」(1名)
令和元年11月14日(木) エフピコ RiM 地下2階福山市男女共同参画センター大会議室
- タ 国立歴史民俗博物館「2019年度地域連携・教育ユニット第2回」(1名)
令和元年11月29日(金) 広島県立文書館研修会議室
報告:下向井祐子(当館嘱託員)「広島県立文書館における被災文書への対処とボランティアとの協働について」
- チ (公財)文化財虫菌害研究所「文化財IPMコーディネータ資格取得講習会」(1名)
令和元年12月4日(水)～5日(木) 飯田橋レインボービル(東京都)
- ツ 全国大学史資料協議会西日本部会「2019年度第4回研究会」(1名)
令和元年12月6日(金) 広島県立文書館研修会議室
報告:下向井祐子(当館嘱託員)「広島県立文書館における被災文書への応急措置作業について」
- テ 国立公文書館「令和元年度アーカイブズ研修Ⅱ(テーマ別研修)」(1名)
令和2年1月15日(水)～17日(金) 国立公文書館
- ト 第6回全国史料ネット研究交流集会(2名)
令和2年2月8日(土)～9日(日) 神戸市御影公会堂

7 その他

(1) 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会（広文協）事務局

ア 総会の開催

令和元年 5 月 28 日（火）13：10～15：10／県立文書館研修・会議室
報 告 「広島県における被災文書の救出と保全活動について」／西向宏介氏（広島県立文書館）
講 演 「倉敷市における被災公文書救出と修復の取り組みについて」／山本太郎（倉敷市総務課
歴史資料整備室）
参加者 39 名

イ 役員会の開催

第 1 回 令和元年 5 月 28 日（火）15：30～16：20／県立文書館研修・会議室
第 2 回 令和元年 11 月 21 日（木）15：30～16：15／県立文書館研修・会議室

ウ 行政文書・古文書保存管理講習会の開催（県立文書館と共催）

令和元年 11 月 21 日（木）10：00～15：15／広島県情報プラザ第 1 研修室
講 演 「歴史文化資料保全の取り組みを支えるために」／天野真志氏（国立歴史民俗博物館）
ワークショップ 「災害発生時の初期対応を考える」／吉川圭太氏（神戸大学大学院人文学研究科）
参加者 39 名

エ 研修会の開催

第 1 回 令和元年 10 月 4 日（金）／県立文書館研修・会議室
テーマ 「ファイル基準表（文書分類表）のつくり方」
講 師 安藤福平（県立文書館元副館長）
参加者 25 名

第 2 回 令和 2 年 2 月 5 日（水）13:30～16:00／江田島市役所 本庁 4 階会議室
テーマ 「江田島市における公文書管理の現状と課題」
報 告 花野泰司（江田島市総務部総務課主任）
現地見学 江田島市大柿公文書館・江田島市灘尾記念文庫
参加者 25 名

オ 会報（『広文協通信』）の発行

第 36 号 令和元年 11 月 21 日発行
山本太郎氏「倉敷市における被災公文書救出と修復の取り組みについて」ほか
第 37 号 令和 2 年 3 月 31 日発行
天野真志氏「災害発生時の初期対応を考える」ほか

(2) 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）広報・広聴委員会事務局

ア 委員会の開催

第 1 回 令和元年 5 月 17 日（金）13：30～17：00／県立文書館研修・会議室
第 2 回 令和元年 8 月 9 日（金）13：30～17：00／広島県大阪情報センター会議室
第 3 回 令和元年 11 月 15 日（金）11：40～13：00／長野県安曇野市豊科公民館小会議室

イ 役員会への出席

第 1 回 令和元年 5 月 23 日（木）13：30～16：30／神奈川県寒川市総合図書館
第 2 回 令和 2 年 2 月 14 日（金）13：30～17：00／神奈川県寒川市総合図書館

ウ 会報（『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 会報』）の発行

第 106 号 2019（令和元）年 9 月 30 日発行
高木秀彰「第 23 期会長就任にあたって」ほか

第 107 号 2020（令和 2）年 3 月 31 日発行
第 45 回 全国（安曇野）大会特集

エ 会誌（『記録と史料』）の発行

第 30 号 2020（令和 2）年 3 月 31 日発行
「特集・会誌『記録と史料』30 号記念 史料保存と文書管理の 30 年を振り返って」ほか

(3) 施設見学受入れ

6 月 1 日（土）	文書館講演会参加者	53 名
7 月 1 日（月）	文書館だより執筆予定者	1 名
2 月 13 日（木）	広島市立千田小学校 3 年生	4 名
2 月 18 日（火）	一般財団法人行政管理研究センター職員	2 名
2 月 25 日（火）	瀬野川郷土史研究会会員	2 名

8 業務日誌

- 4月1日(月) 平岡館長・西村研究員(エルダー)・伊藤研究員(エルダー)着任
- 4月2日(火) 観音書庫現地確認(平岡・荒木・伊藤)
児玉洋一氏所蔵文書(201901)の寄贈受入れ
- 4月4日(木) 飯島新一郎氏所蔵文書(201902)の寄贈受入れ
- 4月5日(金) 監査委員会事務局から移管された文書を受入れ、運搬(荒木・伊藤)
- 4月8日(月) 白木書庫現地確認(平岡・荒木・伊藤)
県民文化センターから昨年度分の文化行事のポスター・チラシを受入れ、運搬(荒木・伊藤)
- 4月9日(火) 中国新聞「広島都市圏」面(29面)に展示記事「仕事や暮らし 広島藩士の姿 県立文書館で企画展」掲載
古文書勉強会が例会を開催(研修会議室, 5月・8月・3月を除く毎月第2火曜日午後15時に開催)
- 4月10日(水) 「広島県庁舎耐震改修工事に伴う仮移転業務に係る職員説明会」で「移転に伴う保管文書の適切な取扱いについて」説明(県庁, 荒木)
- 4月12日(金) 朝日新聞広島総局が展示取材(5月21日掲載)
佐々木勝幸氏収集文書(200611)を追加寄贈
- 4月15日(月) 行政文書庫ドレン配管工事終了
- 4月16日(火) 人権男女共同参画課から移管された文書を受入れ、運搬(荒木)
県庁総務課で31年度の文書館事業について説明(平岡・荒木)
- 4月17日(水) 宇吹暁氏所蔵文書(201904)の寄贈受入れ
- 4月18日(木) ボランティアの援助を得て、被災文書レスキュー作業を再開(～12月19日)
- 4月19日(金) 広島史料ネット運営委員会に参加(広島大学, 西向)
中国新聞の記者が皇室関係の広報写真を取材
- 4月20日(土) 日本アーカイブズ学会2019年度大会に参加(～21日, 東京, 荒木)
- 4月22日(月) 荷解整理室200V電源工事(～23日)
- 4月23日(火) 観音書庫と白木書庫で温湿度データ採取(以後、観音書庫は5月27日, 7月3日, 8月5日, 9月13日, 10月16日, 11月22日, 12月27日, 2月3日, 3月23日, 白木書庫は6月3日, 7月3日, 8月7日, 9月20日, 10月13日, 11月27日, 12月27日, 2月13日, 3月23日に採取, 荒木・伊藤)
- 4月24日(水) 「旧優生保護法に係る庁内連携会議」に出席(県庁, 荒木)
- 5月7日(火) 広島ホームテレビが広島行啓関係の行政文書(広報写真)を取材(当日の「みみよりライブ5up!」で放送)
- 5月8日(水) 「沼田歴史散歩の会」が展示を見学
文書整理ケースの入れ替え作業(今年度初, 毎週水曜日)
- 5月13日(月) 閲覧室配架の行政文書目録を更新
- 5月14日(火) 古田勇文書(2019034)寄贈受入れ
- 5月15日(水) 観音書庫清掃(10月16日も, 荒木・伊藤・囑託員)
配管からの水漏れで濡れた県庁文書のレスキュー作業(県庁書庫, 荒木・下向井)
- 5月17日(金) 全史料協第1回広報・広聴委員会を開催(研修会議室, 平岡・荒木・西向)
- 5月20日(月) 第4書庫で除湿機の稼働開始(6月24日から第5書庫, 6月27日から第4書庫前室, 7月29日から旧消毒室, 9月9日から第1書庫で開始。11月7日に一部を除き停止)
- 5月21日(火) 県教委文化財課主催の市町文化財行政担当者会議に参加して報告(県立総合体育館, 西向)
- 5月22日(水) 県民活動課から移管された文書を受入れ、運搬(荒木)
- 5月23日(木) 全史料協第1回役員会に出席(神奈川県寒川市, 平岡・西向)
東北大学の安田容子氏から被災した掛軸類の洗浄と保管について指導を受ける(6月25日, 9月24日, 10月3日も)
- 5月28日(火) 令和元年度広文協総会・第1回役員会を開催

- 5月29日(水) 白木書庫で温湿度データ採取(荒木・伊藤)
石踊一則氏収集文書(198914)追加寄贈受入れ(12月18日も)
- 6月1日(土) 第14回中国四国地区アーカイブズウィークに参加(～7日)
文書館講演会「古文書に見る広島藩士の肖像」を開催(講師西村),希望者に書庫案内
文書館資料集第10集を刊行
- 6月3日(月) 荷解整理室にエアコン2台を設置し,室外機の排水をホースでドレン管につないで排水
- 6月5日(水) 全史料協総会に出席(東京,平岡・西向)
- 6月6日(木) 全国公文書館長会議に出席(～7日,東京,平岡)
荷解整理室に冷凍庫を設置
テレビ新広島が長船友則氏収集資料などを取材(8/6関連)
- 6月8日(土) 古文書解読入門講座(第1回)を開講
収蔵文書展「古文書にみる広島藩士の肖像」が終了(3月29日～)
第4書庫の空調機が故障。10日に応急処置
- 6月10日(月) (一財)行政管理研究センター「公文書管理セミナー」を受講(東京,伊藤)
文書調査員会議を開催
- 6月12日(水) 宮谷家文書(201905)の寄贈受入れ
- 6月13日(木) 庄原市口和郷土資料館で保存されていた庄原格致高校口和分校の資料を受入れ,運搬(荒木・伊藤)
- 6月14日(金) 低温殺虫処置に利用するため荷解整理室に大型冷凍庫を設置
- 6月15日(土) 広島歴史資料ネットワーク総会(広島史料ネット)が当館研修室で開催
- 6月18日(火) 広島港湾振興事務所で文書選別(荒木・伊藤)
- 6月21日(金) 県立広島大学・広島県立図書館・広島県立文書館連携公開講座「日本文学における色彩」を
研修会議室で開催(28日・7月5日にも開催。28日の講座前に当館の業務について説明)
- 6月22日(土) 古文書解読入門講座(第2回)
- 6月24日(月) 第1回収蔵文書の紹介展「写真展 芸備線の軌跡」開始(～9月21日)
- 6月25日(火) 読売新聞広島総局記者が古文書解読入門講座について取材(7月4日付け読売新聞・広島版
「うちのセンセイ」欄に掲載)
- 6月26日(水) 研修・会議室のPタイル補修
- 6月28日(金) 牧村家文書(201906)の寄託を受入れ,運搬(広島市佐伯区,西村)
- 6月30日(日) 芸備地方史研究会「2019年度芸備地方史研究会大会」で「広島県立文書館における被災文
書の保全活動」について報告(県情報プラザ,西向)
- 7月2日(火) 経営企画チームから行政資料を受入れ,運搬(平岡・荒木・伊藤・神原)
- 7月4日(木) (公財)文化財虫菌害研究所「文化財の虫菌害・保存対策研修会」を受講,行政文書のカビ被
害と保存環境改善の取組みについて報告(～5日,東京,下向井)
- 7月13日(土) 古文書解読入門講座(第3回)
東部県税事務所から移管された文書を受入れ
クールシェア開始(～9月24日)
- 7月16日(火) 道路河川管理課から移管された文書を受入れ,運搬(平岡・荒木・伊藤)
- 7月19日(金) 安田女子大学「古文書学実習」学外実習を実施(研修会議室など)
平成30年度年報をホームページに掲載
- 7月20日(土) 石津家文書(201907)寄贈受入れ
- 7月24日(水) 高野虎市資料(201622)追加寄贈受入れ
- 7月25日(木) 広島県歴史民俗資料館等連絡協議会第77回研究会に出席(北広島町,伊藤)
梶矢祥弘氏収集文書(200507)の追加寄贈
- 7月27日(土) 古文書解読入門講座(第4回)
- 7月29日(月) 観音書庫でエキヒュームSによる文書燻蒸(第1回,～31日)
地下2階旧消毒室の書庫で除湿器稼働
荒木家文書(200810)の追加寄贈受入れ

- 7月30日(火) 「ミュージアム キャラクター アワード 2019」(インターネットミュージアム主催, ~9月12日)に当館マスコットのモンちゃんとジョーくんが参加(525票で14位)
- 7月31日(水) 行政文書選別作業(県庁書庫, 8月2日・8日・9日・22日も, 平岡・荒木・伊藤・神原)
- 8月1日(水) 第5書庫の空調設備が故障し応急処置
- 8月7日(水) 中曾家文書(201908)の寄贈を受入れ, 運搬(広島市佐伯区, 西村)
- 8月9日(金) 全史料協第2回広報・広聴委員会(大阪市, 平岡・西向)
第5書庫空調吹出口5ヶ所にエココプターを設置
- 8月10日(土) 古文書解読入門講座(第5回)
- 8月15日(木) 台風10号接近のため臨時休館
- 8月22日(木) 荷解室の入口ドア下と第5書庫入口・前室ドア下に防虫用隙間ブラシを設置
- 8月23日(金) 第2書庫入口に粘着マットを設置
- 8月24日(土) 古文書解読入門講座(第6回)
- 8月26日(月) 国立公文書館「アーカイブズ研修I」を受講(~30日, 平岡)
- 8月29日(木) 府中町教育委員会職員に地図の簡単な補修方法について指導(荒木・下向井)
- 8月30日(金) 内田俊秀氏(京都造形芸術大学)と古田雅一氏に研究のため昨年度レスキューした被災資料を貸出し
展示室に電波時計を設置
- 9月9日(月) 及川規氏(東北歴史資料館)に研究のため昨年度レスキューした被災資料を貸出し
- 9月10日(火) 廃棄予定の行政文書から行政資料抜取り作業(県庁書庫, 荒木・伊藤・嘱託員5名)
- 9月11日(水) 『原爆三十年』と『広島県の歴史』を当館カウンターで希望者に配布(11月28日から『戦後五十年広島県政のあゆみ』を追加)
- 9月13日(金) 荷解整理室のシャッター上部に隙間ブラシを設置
第5書庫の通路奥に設置する除湿機に排水用ホースを接続し, 自動排水を開始
- 9月14日(土) 古文書解読入門講座(第7回)
- 9月17日(火) 総務課文書グループから移管された文書を受入れ, 運搬(荒木・神原)
- 9月21日(土) 続古文書解読入門講座(第1回)開講
- 9月26日(木) 文化庁の図書館等職員著作権実務講習会を受講(~27日, 京都, 土井)
- 9月27日(金) 業者燻蒸室で文書燻蒸(第2回, ~30日)
- 9月28日(土) 古文書解読入門講座(第8回)
- 9月30日(月) 全史料協広報・広聴委員会が全史料協会報第106号を発行
- 10月3日(木) 国立歴史民俗博物館の天野真志氏から乾燥後の被災資料の対処などについて指導を受ける
- 10月4日(金) 広文協第1回研修会を研修会議室で開催
- 10月7日(月) 収蔵文書の紹介展「築港130周年-広島港のあゆみ」開始(~12月27日, 1月10日まで延長)
広島県情報プラザ火災・防災訓練
- 10月12日(土) 古文書解読入門講座(第9回)
- 10月15日(月) 県教委文化財課の瀬山氏らが来館, 文化財保護法改正による広島県の文化財保存活用大綱の策定に関して意見聴取(荒木・西向)
- 10月19日(土) 続古文書解読入門講座(第2回)
- 10月23日(水) 九州国立博物館「IPMセミナー」に参加(福岡県大宰府市, 下向井・宇都)
県庁で選別した行政文書を観音書庫へ運搬(荒木・伊藤)
中国新聞文化欄に, 当館の展示について「広島港130年 発展の軌跡」という見出しで, 広島市郷土資料館の展示と併せて記事掲載
- 10月24日(木) 東部総務事務所から移管された文書を受入れ, 運搬(福山, 荒木・伊藤)
- 10月26日(土) 古文書解読入門講座(第10回)及び修了式
- 10月28日(月) 閲覧室・研修会議室・ロビーなどのブラインドを交換(11月14日に男女更衣室も)
- 10月31日(水) 中国・四国地区文書館等職員連絡会議に出席(~11月1日, 香川, 伊藤)
- 11月4日(月) 国文学研究資料館の「2019年度アーカイブズ・カレッジ(史料管理学研修会)」短期コー

- スを受講（～9日，日高，熊本）
- 11月5日(木) 武久家文書（201909）の寄贈受入れ（11日に追加受入れ）
- 11月6日(水) 東部総務事務所から移管された文書の整理ケース入替作業（13日・20日・12月4日も）
- 11月7日(木) （公財）文化財虫菌害研究所「文化財IPM実践のための研修会」を受講（～8日，東京，長谷川）
- 11月8日(金) 広島大学・県立図書館・県立文書館「古典の日」連携事業「地域アカデミー2019」第1回を研修会議室で開催（第2回は9日に開催）
- 11月12日(火) 第2書庫の排気ファン故障が判明，応急処置
- 11月13日(水) 古文書解読同好会の会員などで結成された「広島独案内を読む会」が研修会議室で活動を開始（原則として毎月第2・第4水曜日午後）
- 11月14日(木) 第45回全史料協全国大会に出席（～15日，長野県安曇野市，平岡・荒木・西向）
広島県歴史民俗資料館等連絡協議会第78回研究会に出席（福山，高夫）
- 11月15日(金) 全史料協第3回広報・広聴委員会（安曇野市，平岡・西向）
- 11月16日(土) 続古文書解読入門講座（第3回）
- 11月21日(木) 行政文書・古文書保存管理講習会，第2回広文協役員会を開催
『広文協通信』第36号発行
- 11月26日(火) 総務課から移管された文書を受入れ，運搬（日高）
- 11月28日(木) 国立歴史民俗博物館と東京大学史料編纂所の8名が被災文書レスキューにボランティア参加
永田和夫氏収集文書（201910）の寄贈受入れ
- 11月29日(金) 研修会議室で開催された国立歴史民俗博物館「2019年度地域連携・教育ユニット第2回研究会」で「広島県立文書館における被災文書への対処とボランティアとの協働について」報告（下向井）
- 12月3日(火) 職員用パソコン更新
- 12月4日(水) 和氣成祥氏所蔵文書（201911）の寄贈受入れ（12月11日付け『中国新聞』が「友愛の水」感謝の書「元瀬戸田町長，県に寄贈」と報道）
（公財）文化財虫菌害研究所「文化財IPMコーディネータ資格取得講習会」を受講（～5日，東京，宇都）
- 12月5日(木) 森岡晋氏収集文書（201912）の寄贈受入れ
- 12月6日(金) 研修会議室で開催された全国大学史資料協議会西日本部会「2019年度第4回研究会」で「広島県立文書館における被災文書への応急措置作業について」報告（下向井）
- 12月9日(月) 職員ポータルの全庁掲示板に「県庁舎耐震工事による執務室の移転に伴う保管文書の適切な取扱いについて」注意喚起する文書を掲載
- 12月11日(水) 尾道市史編さん室が研修会議室で調査（～14日）
- 12月17日(火) 土井作治氏収集文書（201913）の寄贈を受入れ，運搬（西向・伊藤）
- 12月18日(水) 大型冷蔵庫により土井作治氏収集資料を低温殺虫処置（～2月21日）
- 12月19日(木) 県立身体障害者更生相談所から移管された文書を受入れ，運搬（東広島市，荒木・伊藤）
ボランティアの援助を受けた被災文書レスキュー作業を終了
江田島市の市民グループ「ぐるぐる海友舎プロジェクト」担当者が資料整理と保存法相談のため来館（西村・下向井）
- 12月20日(木) 県教育委員会で文書選別作業（平岡・荒木・伊藤・神原）
- 12月21日(土) 続古文書解読入門講座（第4回）
- 12月25日(水) 中本佳春氏収集文書（201613）の追加寄贈受入れ
館内各書庫などを大掃除
- 1月15日(水) 国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅱ」を受講（～17日，荒木）
- 1月17日(金) 比治山大学「博物館資料保存論」学外実習を実施（研修会議室）
- 1月18日(土) 続古文書解読入門講座（第5回）
閲覧室に書架を増設
- 1月20日(月) 収蔵文書の紹介展「新たに収集した文書から」と常設展開始（～3月7日）

- 閲覧室の増設書架に第2書庫から中国新聞複製版を移して配架
- 1月24日(金) 人事委員会から移管された行政文書を受入れ、運搬(平岡・荒木・伊藤, 2月3日に一部を返却)
- 2月3日(月) 情報プラザエレベーター4号機(文書館～図書館～書庫)の改修工事(～3月9日)
- 2月4日(火) NHK広島放送局が長船友則氏収集資料の『陸軍被服廠要覧』を撮影(15日など放送の「無言の被爆者」を残したい ～どうなる被服支廠～)などで使用)
- 2月5日(水) 広文協第2回研修会(江田島市, 平岡・荒木・西村)
古文書整理臨時職員を雇用(～3月27日, 学生5名)
濱田家文書(201914)の寄贈受入れ
- 2月6日(木) 県立広島大学「博物館資料保存論」学外実習を実施(研修会議室)
- 2月7日(金) 西部厚生環境事務所呉支所と教育委員会から移管された文書を受領し、運搬(荒木・伊藤)
- 2月8日(土) 続古文書解読入門講座(第6回)
第6回全国史料ネット研究交流集會に参加(～9日, 神戸, 西向・下向井)
- 2月10日(月) 松原家文書(201915)の寄贈を受入れ、運搬(廿日市市, 西村)
定森家文書(201918)の寄贈受入れ
- 2月12日(水) 永岡家文書(201916)の寄贈を受入れ、運搬(広島市西区, 西村・三浦調査員)
広島県退職校長会収集文書(201917)の寄贈受入れ
- 2月13日(木) 白木書庫を清掃(伊藤・嘱託員3名)
広島市立千田小学校3年生4名が町調べのため当館を訪問(平岡)
- 2月14日(金) 全史料協第2回役員会へ出席(神奈川県寒川市, 平岡)
- 2月15日(土) 続古文書解読入門講座(第6回)
- 2月17日(月) 当館収蔵図書の一部を白木書庫へ搬送(業者委託, 伊藤・日高立会)
- 2月18日(火) 行政管理研究センター職員が来館し、西日本豪雨の被災文書対応について質問(荒木・西向)
- 2月19日(水) 三浦昇一資料(201806)の一部を返却(福山, 荒木・伊藤)
- 3月4日(水) 広島港湾振興事務所から移管された文書を受入れ、運搬(荒木・伊藤)
- 3月6日(金) 佐古家文書(201919)の寄贈受入れ
- 3月9日(月) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(～令和2年5月23日)
西部農林水産事務所水産第二課から移管された文書を受領し、運搬(呉市, 荒木・伊藤)
- 3月16日(月) 『広島県立文書館だより』第44号発行
- 3月21日(土) 続古文書解読入門講座(第7回)及び修了式を中止(修了証を郵送)
- 3月23日(月) 観音書庫へ行政文書を搬入
- 3月27日(金) 開始予定の収蔵文書展「災害を語る歴史資料」を延期、展示図録を発行
- 3月31日(火) 『広文協通信』第37号発行
『広島県立文書館紀要』第15号発行(ホームページで公表)
全史料協広報・広聴委員会が全史料協会報第107号と会誌『記録と史料』第30号を発行

Ⅲ 法律・条例・規則

1 公文書館法

昭和 62 年 法律第 115 号
最終改正 平成 11 年 法律第 161 号

(目的)

第 1 条 この法律は、公文書等を歴史資料として保存し、利用に供することの重要性にかんがみ、公文書館に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この法律において「公文書等」とは、国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録(現用のものを除く。)をいう。

(責務)

第 3 条 国及び地方公共団体は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関し、適切な措置を講ずる責務を有する。

(公文書館)

第 4 条 公文書館は、歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設とする。

2 公文書館には、館長、歴史資料として重要な公文書等についての調査研究を行う専門職員その他必要な職員を置くものとする。

第 5 条 公文書館は、国立公文書館法(平成 11 年法律第 79 号)の定めるもののほか、国又は地方公共団体が設置する。

2 地方公共団体の設置する公文書館の当該設置に関する事項は、当該地方公共団体の条例で定めなければならない。

(資金の融通等)

第 6 条 国は、地方公共団体に対し、公文書館の設置に必要な資金の融通又はあっせんを努めるものとする。

(技術上の指導等)

第 7 条 内閣総理大臣は、地方公共団体に対し、その求めに応じて、公文書館の運営に関し、技術上の指導又は助言を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

(専門職員についての特例)

2 当分の間、地方公共団体が設置する公文書館には、第 4 条第 2 項の専門職員を置かないことができる。

(総理府設置法の一部改正)

3 総理府設置法(昭和 24 年法律第 127 号)の一部を次のように改正する。

第 4 条第 7 号の次に次の 1 号を加える。

7 の 2 公文書館法(昭和 62 年法律第 115 号)の施行に関すること。

附 則(平成 11 年 12 月 22 日法律第 161 号)抄

(施行期日)

第 1 条 この法律は、平成 13 年 1 月 6 日から起算して 6 月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

2 広島県立文書館設置及び管理条例

(昭和 63 年広島県条例第 1 号)

(設置)

第 1 条 県に関する歴史的資料として重要な行政文書、古文書その他の記録(以下「文書等」という。)を収集し、及び保存するとともに、これらの利用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与するため、広島県立文書館(以下「文書館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 文書館の位置は、広島市中区千田町三丁目とする。

(業務)

第 3 条 文書館は、次の業務を行う。

(1) 文書等の収集、整理及び保存に関すること。

(2) 文書等の利用に関すること。

(3) 文書等の調査及び研究に関すること。

(4) 文書等についての専門的な知識の普及啓発に関すること

(5) 文書等の目録、史誌、資料集等の編さん及び刊行に関すること

(6) その他文書館の目的を達成するために必要な事業に関すること

(職員)

第 4 条 文書館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、文書館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

(委任規定)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、文書館の内部組織その他管理に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して 8 月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(昭和 63 年 9 月広島県規則第 59 号で、同 63 年 10 月 1 日から施行)

3 広島県立文書館管理規則

昭和 63 年広島県規則第 60 号
最終改正 平成 5 年広島県規則第 89 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、広島県立文書館(以下「文書館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 文書館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、土曜日の開館時間は、午前 9 時から正午までとする。

2 文書館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を臨時に変更することができる。

3 館長は、前項の規定により文書館の開館時間を臨時に変更しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。

(休館日等)

第 3 条 文書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 1月2日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで
- 2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。
- 3 館長は、前項の規定により臨時に休館し、又は開館しようとするときは、あらかじめその旨を文書館に掲示するものとする。
- (遵守事項)
- 第4条 文書館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
- 1 広島県立文書館設置及び管理条例（昭和63年広島県条例第1号）第1条に規定する文書等（以下「文書等」という。）又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損しないこと。
- 2 他人に危害を及ぼし、迷惑を掛ける行為その他文書館の秩序を乱す行為をしないこと。
- 3 職員の指示に従うこと。
- (禁止行為)
- 第5条 文書館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、館長の許可を受けた場合は、この限りでない。
- (1) 寄付の募集
- (2) 爆発物その他危険物の持ち込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置
- (入館の制限等)
- 第6条 館長は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、文書館への入館を拒否し、又は文書館からの退去を命ずることができる。
- (文書等の寄贈及び寄託)
- 第7条 文書館は、文書等の寄贈及び寄託を受けることができる。
- 2 寄託を受けた文書等は、その保管、利用等に関し、寄託者と特約がある場合を除き、文書館所蔵の文書等と同様の取り扱いをするものとする。
- 3 寄託を受けた文書等が天災地変その他不可抗力により損害を受けたときは、その責めを負わないものとする。
- (文書等の利用の制限)
- 第8条 文書等のうち、次に掲げるものは、館長が学術研究上特に必要があると認めた場合を除き、利用に供しないものとする。
- (1) 個人もしくは団体の秘密保持のため、又は公益上の理由により利用に供することが不適当な文書等の全部又は一部
- (2) 文書等の整理又は保存上支障があるもの
- 2 寄贈又は寄託を受けた文書等の利用に関し寄贈者又は寄託者と特約がある場合は、当該特約に従うものとする。
- (利用券)
- 第9条 文書等を利用しようとする者は、別記様式第1号による文書館利用券交付申請書を館長に提出し、別記様式第2号による利用券（以下「利用券」という。）の交付を受けなければならない。

- 2 前項の場合において、館長は、必要と認めるときは、申請者にその身分を証明することができるものの提示を求めることができる。
- 3 利用券の有効期間は、交付の日から1年とする。
- 4 館長は、利用券の交付状況を明らかにするため、別記様式第3号による利用券交付台帳を備えなければならない。
- (閲覧の手続)
- 第10条 文書等を閲覧しようとする者は、別記様式第4号による文書等閲覧申請書に利用券を添えて館長に提出し、閲覧しようとする文書等（以下「閲覧文書等」という。）を借り受けるものとする。
- 2 閲覧文書等の閲覧を終了した者は、速やかに当該閲覧文書等を返納しなければならない。
- 3 同時に借り受けることができる閲覧文書等は、館長が特別の理由があると認めた場合を除き、5点以内とする。
- (文書等の館外貸出し)
- 第11条 文書等の館外貸出しは、行わないものとする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、この限りではない。
- (文書等の複写)
- 第12条 文書等の複写を希望する者は、別記様式第5号による文書等複写申請書に利用券を添えて館長に提出し、その承認を受けなければならない。
- (出版物等への掲載)
- 第13条 文書等の全部又は一部を出版物等に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記様式第6号による出版物等掲載許可申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。
- (損害賠償義務等)
- 第14条 文書等又は文書館の施設若しくは設備を亡失し、き損し、又は汚損した者は、別記様式第7号による亡失等届出書を館長に提出するとともに、これを修復し、又はその損害を賠償しなければならない。
- (館長)
- 第15条 館長は、非常勤の職員をもって充てることができる。
- (委任規定)
- 第16条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。
- 附 則
- この規則は、昭和63年10月1日から施行する。
- 附 則
- この規則は、平成5年4月1日から施行する。
- 附 則
- この規則は、平成6年4月1日から施行する。

4 広島県文書等管理規則（抄）

（平成 13 年広島県規則第 31 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 9 条 完結文書（第 7 条第 2 項の規定により決定された保存年限が 30 年である完結文書（第 4 項において「30 年保存文書」という。）を除く。）の保存年限が満了したときは、書庫に収蔵したものにあっては総務課長等において、その他のものにあっては主務取扱主任において廃棄するものとする。
- 2 主務取扱主任は、保存年限満了前に完結文書を廃棄しなければならない特別の理由が生じたときであっても、総務課長等の承認を得なければ、当該完結文書を廃棄することができない。
- 3 総務課長等又は主務取扱主任は、前 2 項の規定により完結文書を廃棄しようとするときは、当該完結文書を広島県立文書館（以下「文書館」という。）で保存することの適否について文書館の長（以下「文書館長」という。）の審査を受けなければならない。
- 4 総務課長等又は主務取扱主任は、保存年限の満了した 30 年保存文書及び前項の審査により文書館で保存すると決定された完結文書については、それらの文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡さなければならない。

附 則（平成 24 年 4 月 1 日規則第 35 号）抄

（経過措置）

- 2 この規則による施行前に主務取扱主任が決定した保存年限が長期である文書等の管理については、なお従前の例による。ただし、当該文書のうち、完結年度の翌会計年度の 4 月 1 日から起算して 30 年を経過する完結文書については、総務課長等又は主務取扱主任は、当該完結文書が法令により廃棄しなければならないとされている場合等特別の理由がある場合を除き、文書館長に引き渡すよう努めるものとする。

5 広島県文書等管理規程（抄）

（平成 13 年広島県訓令第 5 号）

（文書等の廃棄等）

- 第 43 条 総務課長等及び主務取扱主任は、保存年限が満了した完結文書は文書館に引き渡す文書等を除き、焼却、細断等適切な措置を講じた上で廃棄するものとする。ただし、電磁的記録については、磁気ディスク等に記録されている当該電磁的記録を消去する方法により廃棄するものとする。
- 2 総務課長等又は主務取扱主任が保存年限が満了した完結文書を文書館で保存することの適否について規則第 9 条第 3 項の規定により審査を受けるときは、当該完結文書の目録の写しを文書館長に送付するものとする。
- 3 文書館長は、前項の規定による審査の結果、文書館において保存しようとする廃棄予定文書については、別記様式第 11 号による廃棄予定文書保存通知書を作成し、総務課長等又は主務取扱主任に通知するものとする。

＝ 利 用 案 内 ＝

1 開館時間

- ・月～金曜日 9時～17時
- ・土曜日 9時～12時

2 休館日

- ・日曜日，国民の祝日・休日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

3 閲覧の仕方

- ・初めて利用される方は閲覧室のカウンターで利用券の交付を受けてください。
- ・目録やカードで必要な文書を検索し，閲覧申請書に必要事項を記入してカウンターに出してください。
- ・一度に利用できる文書は，5点までです。
- ・文書の検索や利用について分からないことがあればカウンターでお尋ねください。

4 資料の複写等

- ・文書・図書の館外貸出しは行いません。
- ・文書の複写は，別に許可が必要です。カウンターで所定の手続をしてください。
- ・複写は，実費をいただきます。

5 その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，利用を制限する場合などがあります。
- ・来館にあたっては，文書館のホームページや館入口の掲示をご確認ください。



…広電本社前下車約500m
広島県情報プラザ内駐車場 利用可能 (有料)

広島県立文書館事業年報 第31号

(令和元年度分)

(令和2年7月発行)

編集・発行 広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47
広島県情報プラザ内
TEL 082(245)8444
FAX 082(245)4541

広島県立文書館ホームページ : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

Eメールアドレス : monjokan@pref.hiroshima.lg.jp